



2024年3月期 決算説明会資料

2024年6月17日
日工株式会社

証券コード 6306

代表取締役 取締役社長 辻 勝

取締役副社長 藤井 博

2022-2024年度 中期経営計画2年目進捗報告

| | | |
|-------------------------|---|---------|
| 中期経営計画の数値計画、中期経営計画の位置づけ | ▶ | P. 4－7 |
| 中期経営計画の成長投資(M&A) | ▶ | P.8 |
| 中期経営計画の内部機能強化 | ▶ | P.9 |
| 中期経営計画株主還元 | ▶ | P.10 |
| 2030年ビジョン、22-23年度進捗 | ▶ | P.11－21 |

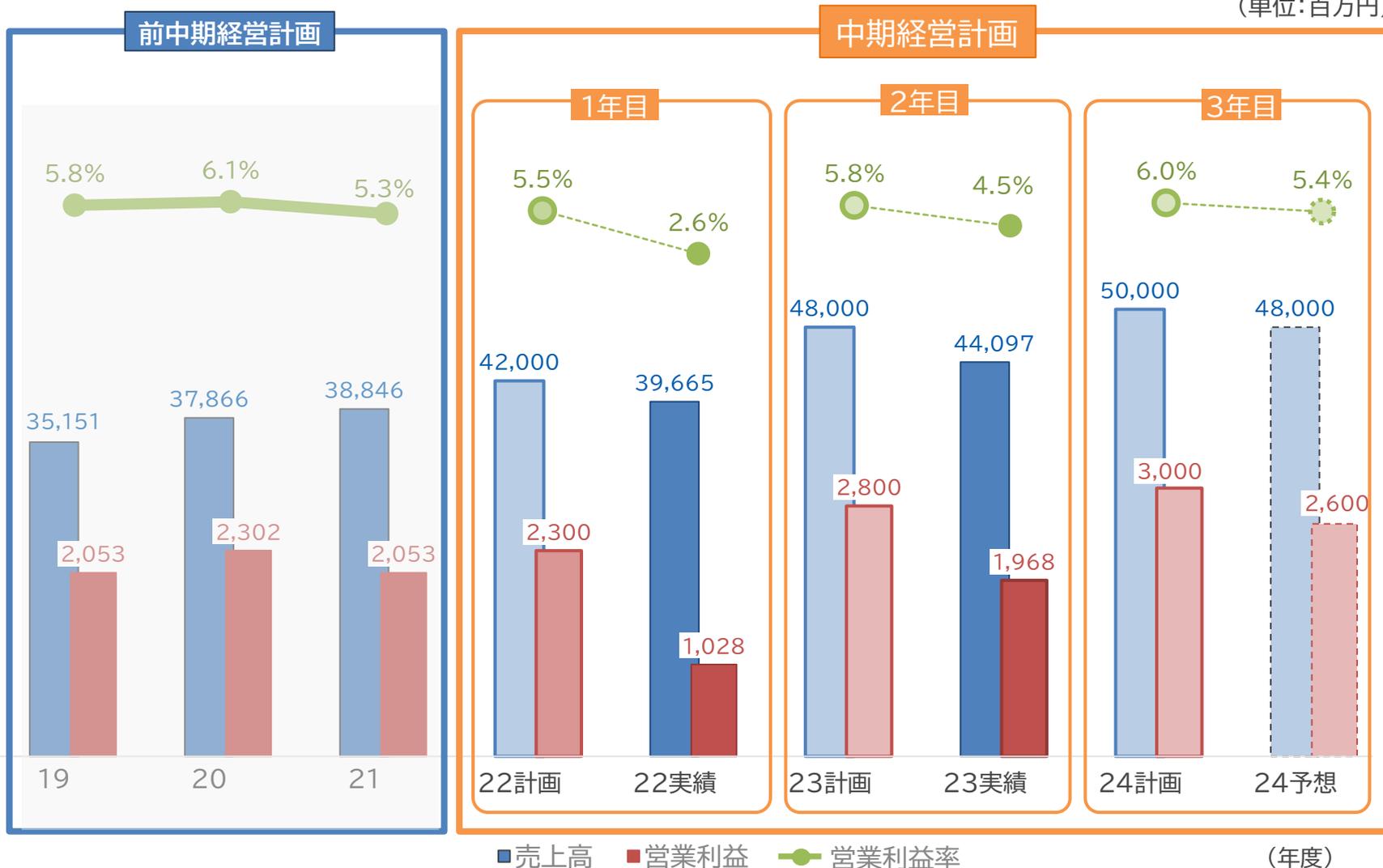
| | | |
|--------------------------------|---|---------|
| 2024年3月期実績及び2025年3月期見通し | ▶ | P.22－45 |
| 事業環境と経営戦略 | ▶ | P.46－55 |
| 参考資料 | ▶ | P.56－61 |

※本資料の数値は単位未満の端数処理により
末端数値が四半期報告書と異なる場合があります。

2022-2024年度 中期経営計画 進捗報告(2年目)

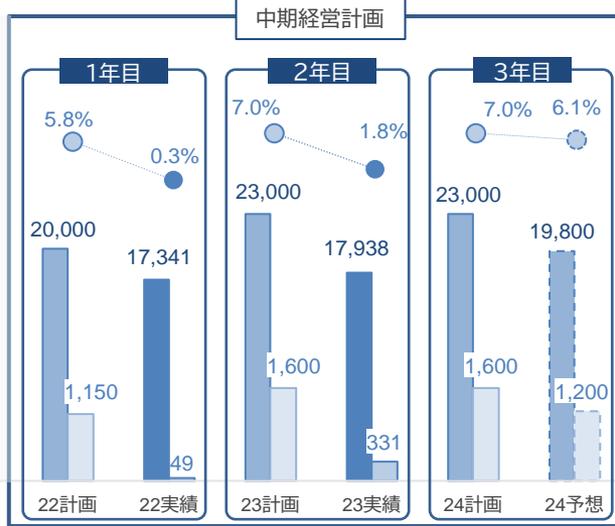
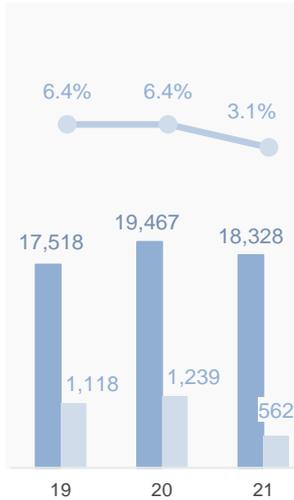
中期経営計画2年目の23年度は鋼材をはじめとした原材料価格の高止まり、中国経済の失速、タイ事業の立ち上がりの遅れなどにより目標未達となるものの売上は増加基調。最終年度となる今期は利益目標到達は厳しいが、売上は計画の500億円が展望できる(期初の受注残の積み上がり 前期比+47億円)

(単位:百万円)

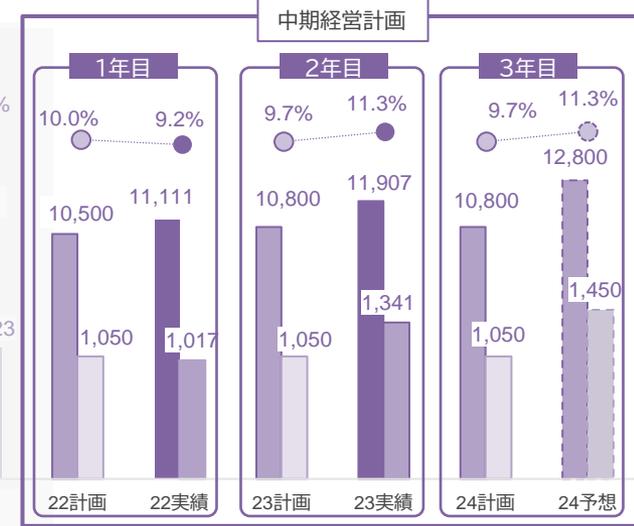
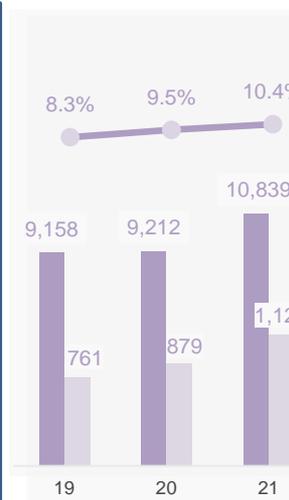


(単位:百万円)

AP関連事業

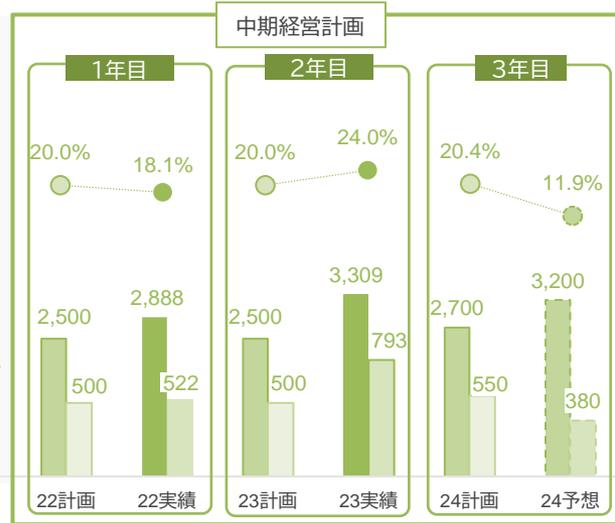
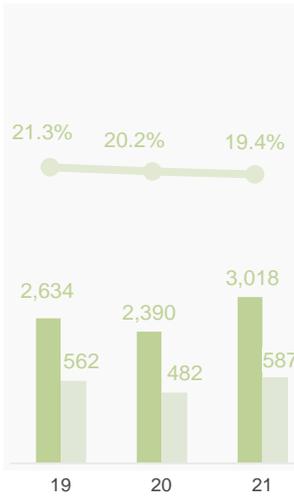


BP関連事業

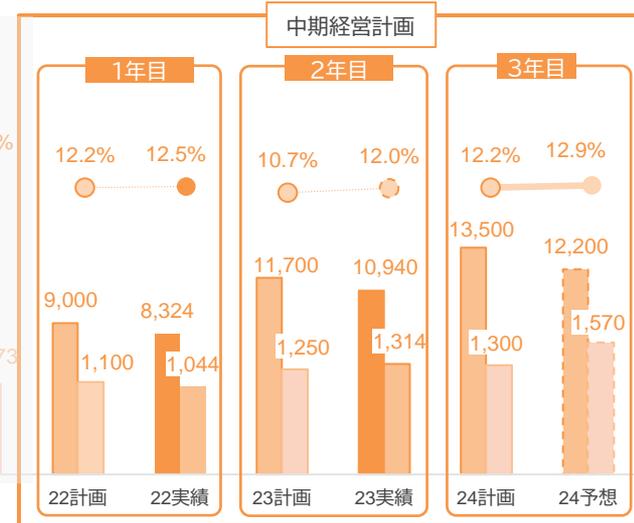
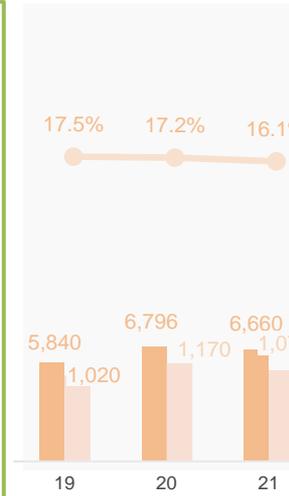


(年度)

環境及び搬送関連事業



その他事業



■売上高 ■営業利益 ●営業利益率

※()内数字は前中期経営計画

| 項目 | 投資額(3ヶ年累計) | | |
|--------------------|--|--|---|
| <p>人員強化</p> | <p>日工単体 145名増員 (69名増)</p> | <p>22~24年度 3年間計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AP事業領域 59名 ● BP事業領域 20名 ● 環境搬送領域 12名 ● 海外 6名 ● 開発 12名 ● モバイルプラント 11名 ● その他 25名 | <p>22年度~23年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AP事業領域 ● BP事業領域 ● 環境搬送領域 ● 海外 ● 開発 ● モバイルプラント ● その他 <p style="text-align: right; font-size: 2em;">} 86名増員</p> |
| <p>研究開発</p> | <p>25.3億円 (11.9億円)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● AP事業領域 <ul style="list-style-type: none"> ■ 環境対応新製品 ■ 遠隔化・自動化サポート ● BP事業領域 <ul style="list-style-type: none"> ■ 運営支援センター ■ 製品改良 ■ システム開発 ● 環境搬送領域 <ul style="list-style-type: none"> ■ 製品開発 ■ EC他IT投資 ● 海外 <ul style="list-style-type: none"> ■ 標準モデル開発 | <ul style="list-style-type: none"> ● AP事業領域 (海外含む) ● BP事業領域 ● 環境搬送領域 ● その他事業 <p style="text-align: right; font-size: 2em;">} 11.8億円</p> |
| <p>設備投資</p> | <p>60億円 (63億円)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 兵庫県内に新工場を建設 (5億円) ◆ 開発・テストセンター建設 (10億円) | <ul style="list-style-type: none"> ● AP関連事業 (22年度上海、タイ等)機械、装置費 ● (22年度)AP,BP関連事業倉庫建設 (23年度)新工場建設、機械、装置 (22、23年度)ソフトウェアなど ● その他事業 <p style="text-align: right; font-size: 1.5em;">など計45.2億円</p> |

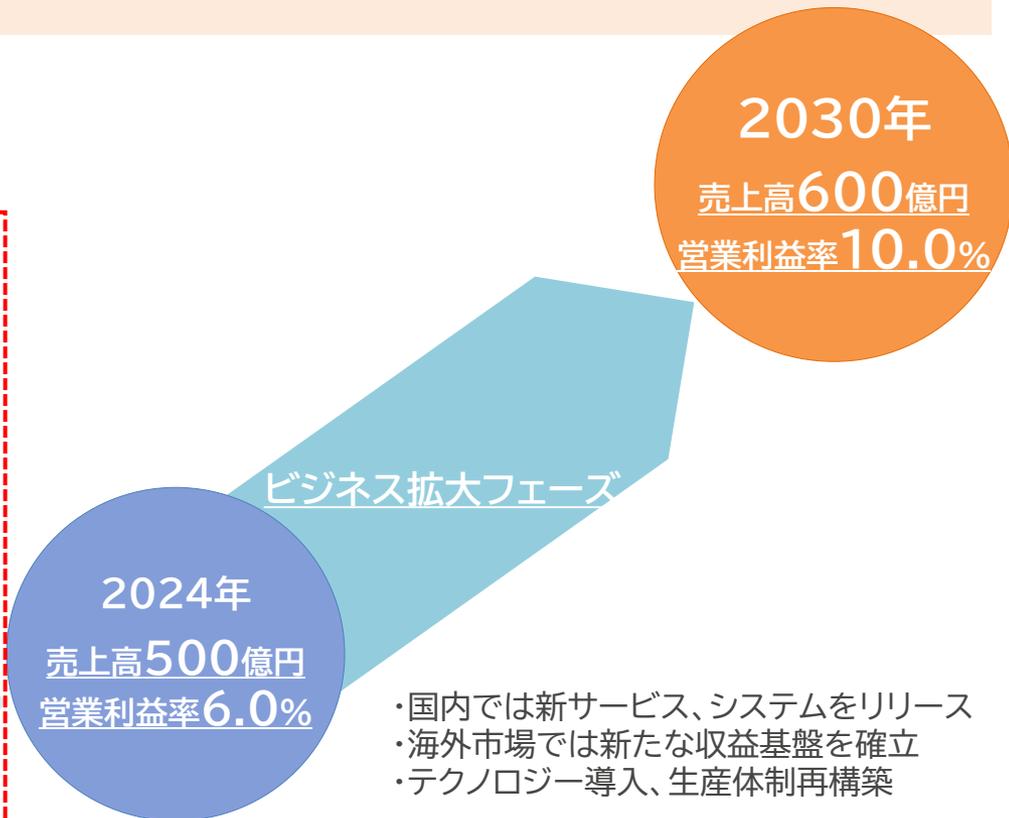
■ 中期経営計画(2022-2024)は、2030年に向けた体制・プロセス・制度を構築する期間

中期経営計画(2022-2024)

| | |
|------|--|
| ビジネス | <ul style="list-style-type: none"> ✓ AP、BPプラント標準化 ✓ 搬送PコネC化、チャンネルコン取り扱い ✓ 海外APのインドネシア・ベトナム進出 |
| 内部機能 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ グローバルマーケティング機能、DX推進機能 ✓ 新規ビジネスの協力販売体制の構築 ✓ 人材マネジメント基盤・制度の再構築 |



中計の3年間で10年ビジョンの礎となる体制・プロセス・制度を構築
 その後10年後を見据えた新サービスのテスト、システム開発を推進



- ・国内では新サービス、システムをリリース
- ・海外市場では新たな収益基盤を確立
- ・テクノロジー導入、生産体制再構築

| | |
|------|---|
| ビジネス | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 遠隔化・自動化サポート、トータル管理システム ✓ 環境対応製品の本格展開 ✓ ASEAN展開 |
| 内部機能 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 運営支援センター開設・本格稼働 ✓ テクノロジーを用いた自動化・遠隔化 ✓ 生産プロセス見直し、本社工場の組立集中 |

- 22年3月 宇部興機株式会社（主要事業:プラント向け製缶加工・組立）
- 23年7月 株式会社松田機工（主要事業:各種プラント、産業機械などの製造・組立）

全株式取得により子会社化



目的:製造請負関連事業の拡大及び製造の内製率の向上

※宇部興機株式会社

- 事業内容 : ガスホルダーの設計・製造・工事施工
各種プラント設備・産業機械の製造・据付工事
ソーラー関連商品の開発製造販売
- 主要取引先 : 大手メーカー、プラントエンジニアリングなど
- 強み : 自社製品のガスホルダーを主体に、タンク類や大型製缶品の製作・現地工事を行う
多くの協力会社ネットワークを持ち、日本全国に納入

※株式会社松田機工

- 事業内容 : 各種プラント、産業機械などの製造・組立
- 主要取引先 : 大手プラントエンジニアリング会社
環境関連機械メーカーなど
- 強み : レーザー切断から2次加工、製缶溶接、組立、試運転、検査まで自社一貫製作が可能
熟練した製造技術と高い品質と検査体制
柔軟な納期対応、顧客からの高い信頼と実績

● 22年度 日エグループCI策定

| | |
|-------------------------------------|--|
| <p>MISSION 日々果たすべき使命</p> | <p>一步先ゆくエンジニアリングから、 社会基盤をアップデートする。</p> |
| <p>VISION 実現したい未来</p> | <p>世界を、強くやさしい街に。</p> |
| <p>VALUE 提供価値</p> | <p>5つのバリューを策定</p> |
| <p>SPIRIT 大切にすべき精神</p> | <p>12のスピリットを策定</p> |

● 人的資本強化

● 人員増員とともに、社員の生活の安定とエンゲージメントの向上を目指し施策を講じています。

★3年連続の賃上げ

22年度 一律3万円の賃上げを実施

23年度 5%の賃上げを実施

24年度 5.03%の賃上げを実施

★新入社員と勤続表彰対象者、成績優秀者に自社株を付与する制度を導入

★400億円売上達成記念に全社員に100株付与(予定)

● 新人事制度

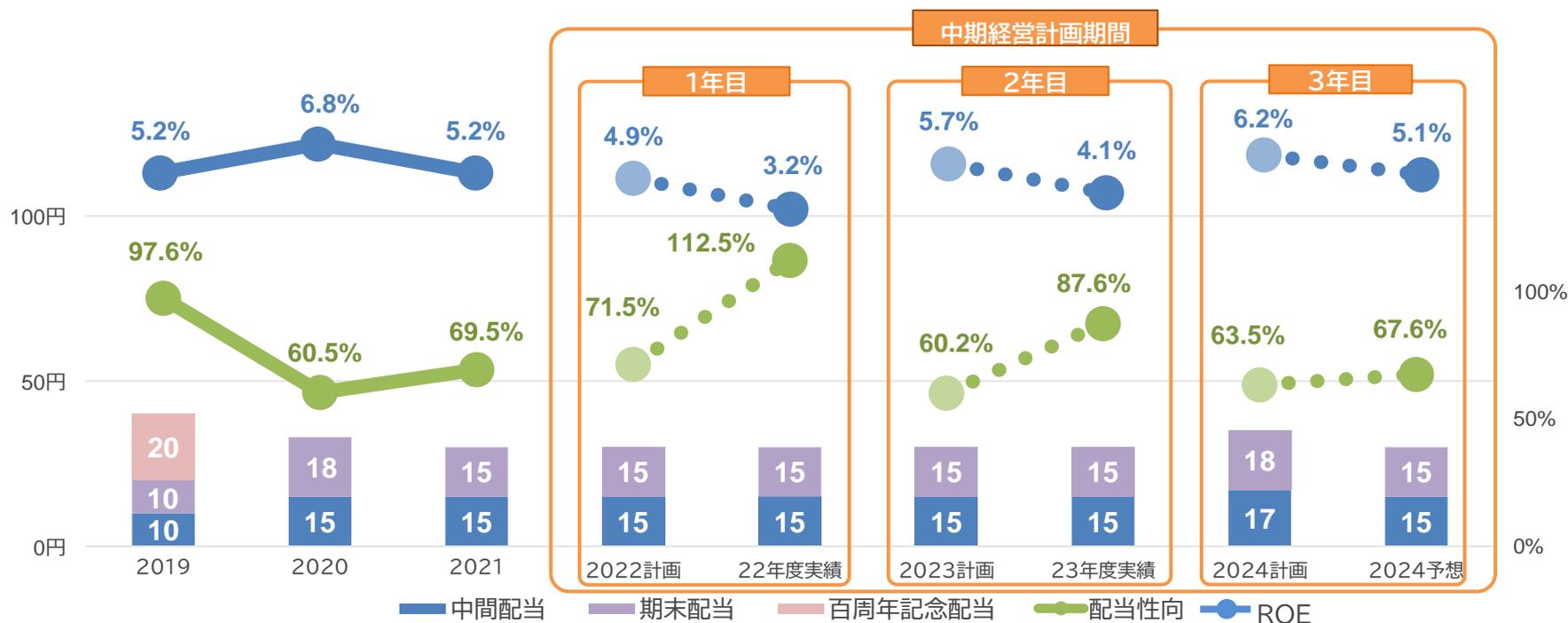
目的 ビジョンの実現を支える人材の成長と活躍を促進する

内容 職務に応じた処遇と役割に応じた処遇を明確化
従業員一人ひとりが自立的なキャリア選択ができるよう運用

(単位:百万円)

| | 前中期経営計画 | | | 中期経営計画 | | | | | |
|-----------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 2019年度実績 | 2020年度実績 | 2021年度実績 | 2022年度計画 | 2022年度実績 | 2023年度計画 | 2023年度実績 | 2024年度計画 | 2024年度予想 |
| 売上 | 35,151 | 37,866 | 38,846 | 42,000 | 39,665 | 48,000 | 44,097 | 50,000 | 48,000 |
| 営業利益 | 2,053 | 2,302 | 2,053 | 2,300 | 1,028 | 2,800 | 1,968 | 3,000 | 2,600 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,588 | 2,082 | 1,649 | 1,600 | 1,020 | 1,900 | 1,312 | 2,100 | 1,700 |
| 1株当たり配当額(単位:円) | 40 | 33 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 35 | 30 |
| 配当総額 | 1,550 | 1,260 | 1,146 | 1,144 | 1,147 | 1,144 | 1,149 | 1,334 | 1,149 |
| 配当性向 | 97.6% | 60.5% | 69.5% | 71.5% | 112.5% | 60.2% | 87.6% | 63.5% | 67.6% |
| 純資産 | 30,293 | 31,451 | 32,050 | 32,506 | 31,604 | 33,262 | 33,086 | 34,028 | 33,637 |
| ROE | 5.2% | 6.8% | 5.2% | 4.9% | 3.2% | 5.7% | 4.1% | 6.2% | 5.1% |

配当性向60%以上



★2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、分割後の配当金額に統一して記載しています

- メーカーとして技術力・製品力の日エブランドを維持・強化しつつ、サービスビジネスを拡張させ、**2030年に売上高600億円、営業利益60億円**を達成します

日エグループ

高い技術力に裏打ちされたプラント設備・環境製品のトップメーカー
且つ、運用・保全サービスによる顧客の経営パートナー

事業の変容

- ◆国内AP関連事業
- ◆国内BP関連事業
- ◆メンテナンスサービス事業

技術を活かした規模拡大

- ◆海外AP関連事業
- ◆環境及び搬送関連事業
- ◆MP販売・その他事業



運用・保全サービスの強化

製品・市場の横展開

◆◆2030年度 数値目標◆◆
 売上高 600億円 営業利益率 10.0%
 ROE 10.0%以上

Vision

世界を、強くやっつけろ。



- 各事業において、2030年ビジョンで掲げる事業構造変革に向けた新製品・新サービスのローンチとそれに必要な組織能力の強化に積極投資します

国内AP

- ✓ トップメーカーが持つ開発力を生かした環境製品開発を実行
- ✓ ソリューションパートナーとして顧客の工場運営をサポート

BP

- ✓ 生コン工場のトータル管理を実行
- ✓ プレキャスト業界の高い要求水準を満たす製品開発

海外AP

- ✓ 海外市場で競争力のある標準モデル製品の設計・ローンチ
- ✓ ASEAN市場への展開に向けた組織体制の構築

搬送

- ✓ 更なるモジュール化による短納期、低価格を実現しつつ、搬送ラインのエンジニアリングによるメーカーの枠を超えた利便性・効率性の提供
- ✓ Webサービスや設計体制を整備し、新製品・サービスを届ける基盤づくり

◆中期経営計画の実施・達成項目

2025年度～の 力強いビジネス拡大フェーズへ

2022年度-2024年度 内部投資フェーズ



■2022年度・2023年度の主な実施項目

- | 2022年度 | 2023年度 |
|-----------------|-----------------------|
| ● 経営理念の策定 | ● 新人事制度開始 |
| ● ASEAN事業戦略室の設置 | ● 松田機工の日工グループ入り |
| | ● サービス部門のセールスフォース移行開始 |

2022年度・2023年度 共通

- 事業拡大に向けた大幅な人員増
※日工の従業員数
2021年4月861人→2024年3月1,117人
課題解決などに向けた大幅な組織変更
- プラント設計の標準化率アップ
(例)VPシリーズ採用の場合
標準化率30%以下→標準化率70%を達成(23年度)

国内AP事業 BP事業 海外AP事業 モバイル事業 MS事業 成長投資・内部機能強化

国内アスファルト プラント関連事業

プラントメーカーとしての強い製品力を生かし、
顧客の工場運営を支援する経営パートナー

- ✓ **脱炭素化サポート**
- ✓ 遠隔化・自動化サポート



- トップメーカーとしての高い技術力を生かし
 - ・脱炭素化・遠隔化・自動化技術を確立
 - ・顧客の工場運営をこれまで以上にサポート

1. 脱炭素化サポート

| 中計目標 (22~24年度) | 22~23年度進捗 | 計画 進捗度 |
|--|---|-----------|
| 低炭素な合材製造システムの開発 | ・フォームド装置 | ◎ |
| | 22年度 受注 40台 売上 19台 23年度 受注 44台 売上 55台 | |
| 脱炭素燃料の燃焼技術の開発 | ・新型AP“VPIV-Clover“の開発(22年度) | ◎ |
| | ・水素バーナ開発 | ◎ |
| | 22年度 合材製造試験運転完了 水素100%専焼、都市ガスとの混焼可能 | |
|  バイオマス、ガス燃焼技術の提供 | ・アンモニアバーナ | ○ |
| | 22~23年度 社内でLNGとアンモニアの燃焼テストを実施 APに利用する問題点も浮かび上がり、対応の検討に入る | |
| 23年度 再生油バーナー販売 25年度 微粉炭バーナー納入予定 その他燃料についても開発進捗中 | | ◎ |

国内アスファルト プラント関連事業

プラントメーカーとしての強い製品力を生かし、
顧客の工場運営を支援する経営パートナー

- ✓ 脱炭素化サポート
- ✓ 遠隔化・自動化サポート



- トップメーカーとしての高い技術力を生かし
 - ・脱炭素化・遠隔化・自動化技術を確立
 - ・顧客の工場運営をこれまで以上にサポート

1. 脱炭素化サポート

| 中計目標 (22~24年度) | 22~23年度進捗 | 計画 進捗度 |
|-------------------|--|-----------|
| その他 | 23年度 VPシリーズが経産省補助金 先進設備に採択(※) 令和5年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」に新型アスファルトプラント「Value Pack」が採択 VPシリーズ導入で最大15億円の補助を受けることが可能に 「VPシリーズ」を導入の際、設計費・設備費・工事費に対して、中小企業では最大で2/3、大企業では最大で1/2の補助率が適用されます。*1 https://prt-times.jp/main/html/rd/p/000000045.000081441.html | |

*1 100万円/年度～15億円/年度(非化石燃料時は20億円/年度)の範囲

「VPシリーズ」は、再生アスファルト合材の流通量が増加した背景より、それまで別々の設備であったアスファルトプラントとリサイクル設備を1つに融合したプラントシリーズです。コンパクト設計によりエネルギー消費量を抑えられるほか、安全性や環境性も向上した次世代型プラントです。

国内アスファルト プラント関連事業

プラントメーカーとしての強い製品力を生かし、
顧客の工場運営を支援する経営パートナー

- ✓脱炭素化サポート
- ✓遠隔化・自動化サポート



- トップメーカーとしての高い技術力を生かし
 - ・脱炭素化・遠隔化・自動化技術を確立
 - ・顧客の工場運営をこれまで以上にサポート

2. 遠隔化・自動化サポート

| 中計目標 (22~24年度) | 22~23年度進捗 | | 計画 進捗度 |
|---|--|--|-----------|
| 部分遠隔出荷 システムの提供 | 23年度 | 合材サイロ遠隔出荷システム“SiiLO” をリリース | ◎ |
| | 納入ユーザーからの改善要望を基にブラッシュアップ、 標準組み込みを検討中 | | |
| プラント運用の 遠隔化・自動化 サポート | 22~ 23年度 | 課題、リスクを洗い出し、自動運転に必要な 設備、機器をほぼ(95%程度)リスト アップ完了。 | ○ |
| | SB(建て替え)時のサブスク契約、プラント 運用経験社などが必要なこともあり、運 用センターの設置なども含め次期中計で のスタートを目指す | | △ |
| メンテナンスサ ブスク契約数の 拡大を基にした プラント稼働 データの蓄積 | 23年度 まで | 9件契約済み 更に提案進行中 | △ |

コンクリートプラント 関連事業

生コン工場のトータル管理を実行し、
頭一つ抜き出たトップメーカー
且つ、環境に優しいメーカー

✓コンクリートトータル管理
システム

✓プラント支援センター

✓モバイルプラント

✓環境対応製品



- 生コン工場のトータル管理、プレキャストの高い品質期待に応える製品開発によりトップメーカー且つ環境に優しいメーカーを目指す

1. 自社操作盤の開発・展開

| 中計目標 (22~24年度) | 22~23年度進捗 | | 計画 進捗度 |
|--|--------------|--|-----------|
| 自社開発の操作盤を展開し、顧客のプラント運営情報を蓄積することにより、プラントの標準化を推進 | 23年度 | コンクリート製造に関する全データをトータル管理するオープンプラットフォーム『日工 OPEN PLATFORM構想』を作成 DX工場管理システムの構築 プロトタイプ 排水処理パッケージの完成 →2024年より拡販開始 | ○ |
| | | 25年度 操作盤マイナーチェンジに向け始動 プラント標準化の具体化取組み | |
| 顧客プラントの運営支援サービスの導入 | 23年度 まで累計 | サブスク契約28件締結済み | ○ |
| | 24年度 | DX工場管理の機能拡張(材料管理、工場全体監視)に取り組む、DX設備台帳機能の製作 | ○ |

コンクリートプラント 関連事業

生コン工場のトータル管理を実行し、
頭一つ抜き出たトップメーカー
且つ、環境に優しいメーカー

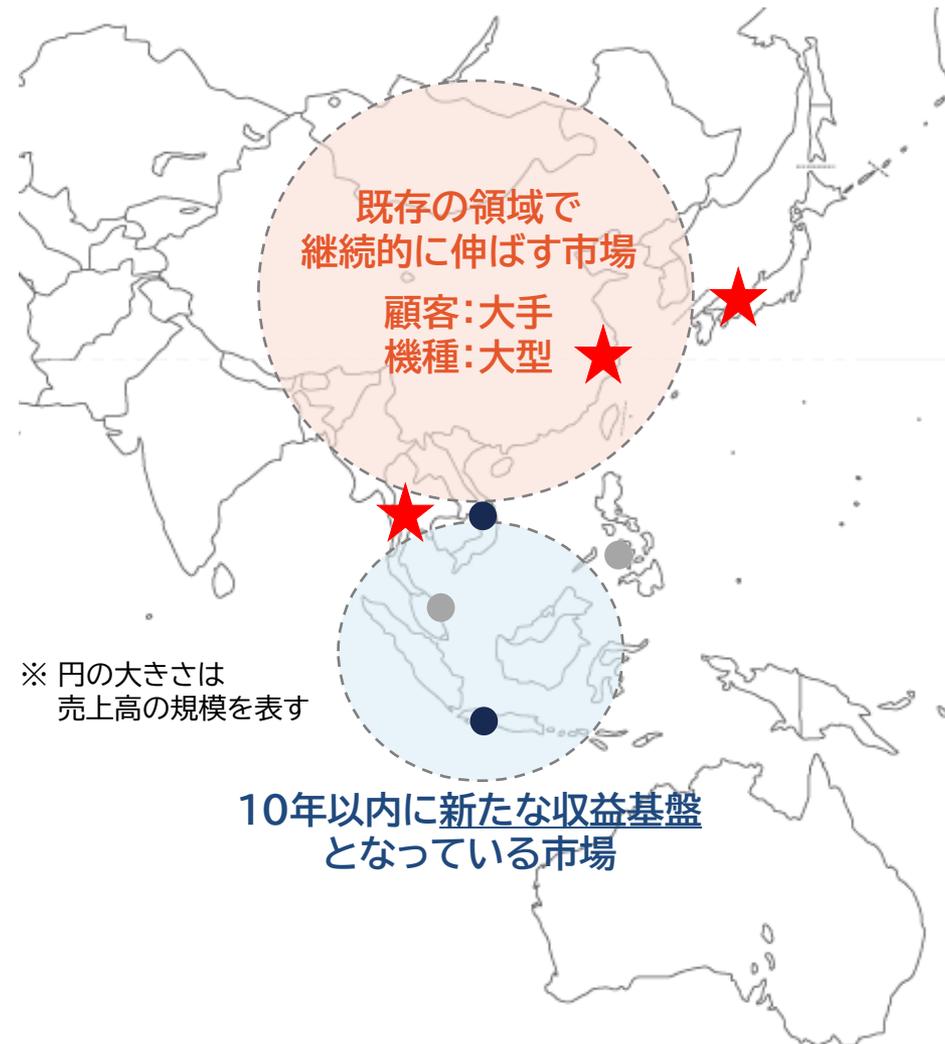
- ✓コンクリートトータル管理システム
- ✓プラント支援センター
- ✓モバイルプラント
- ✓環境対応製品



- 生コン工場のトータル管理、プレキャストの高い品質期待に応える製品開発によりトップメーカー且つ環境に優しいメーカーを目指す

| 中計目標 (22~24年度) | 22~23年度進捗 | | 計画 進捗度 |
|-------------------------------------|-----------|--|-----------|
| プラントの集約に伴いリーチできなかったエリアへのモバイルプラントの展開 | 22年度 | プロジェクト向けプレキャストユーザーに納入 災害復旧、特殊コンクリート需要に向け引合獲得中 24年度 1台予算化 更なる拡販に向け、用途に応じた設計、ミキサ形状、付帯装置など検討開始 | △ |
| CO2削減等、顧客の環境対応ニーズに応える製品開発及び展開 | 22年度 | GI基金事業/CO ₂ を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクトに参画し実証プラントを建設、コンクリート製造時の消費電力削減手法の研究に着手 | ○ |
| | 22~23年度 | プレキャストユーザーにエコタンカルなど製造設備を提案 2案件納入、12案件引合獲得 | ◎ |
| | 22~23年度 | Carbon Cure(カナダ) 技術導入に向け三菱商事との協力体制確立 生コン1工場、プレキャスト1工場契約複数の引き合い獲得 | ○ |

- 海外市場でも競争力のある標準モデル製品の設計・ローンチ
- ASEAN市場への展開に向けた販売・生産体制の構築



海外アスファルト プラント関連事業

アスファルトプラント
グローバルメーカー

- ✓ **ASEAN展開**
- ✓ **グローバル標準製品**



- ・タイ生産拠点の早期立上げ
- ・インドネシア・ベトナムでの営業体制を構築

1. 新規市場参入のための体制整備

| 中計目標 (22~24年度) | 22~23年度進捗 | | 計画 進捗度 |
|---------------------|------------------------------|---|-----------|
| 新たにインドネシアとベトナム市場へ参入 | 23年度 | ベトナムの建設機械ディーラー1社 (VITRAC)と代理店契約 | ○ |
| | 23年度 | 中国製AP1台販売(ベトナム) タイ製AP1台商談中(ベトナム) | △ |
| | インドネシアの代理店はASEANの市場動向を見ながら判断 | | |
| 現地販売代理店との連携体制の構築 | 23年度 | タイ代理店と販売プロモーションをおこない 22年度4台受注→23年度10台受注 24年度もプロモーションを継続 【24年度見込】 予定売上 : 1,771百万円 受注予定台数 : 17台 販売予定台数 : 21台 期末注残予定台数 : 4台 | ◎ |

海外アスファルト プラント関連事業

アスファルトプラント
グローバルメーカー

- ✓ASEAN展開
- ✓グローバル標準製品



- ・タイ生産拠点の早期立上げ
- ・インドネシア・ベトナムでの営業体制を構築

2.海外向け標準プラントの設計

| 中計目標 (22~24年度) | 22~23年度進捗 | | 計画 進捗度 |
|--|-----------|--|-----------|
| 現地購入品の導入等も含め、ニーズに合った海外市場で価格競争力のある標準プラントを設計 | 23年度 | ASEAN標準モデル“NAP.ACE-130”を開発し受注 ▶24年度納入予定 | ◎ |

ASEAN標準モデル“NAP.ACE-130”について

日本の設計基準からグローバル基準への見直しを実施し、耐震基準を見直すことにより、フレームの新設計を行い使用部材ダウンによるコストダウンを実現させたモデル。プラントレイアウトに関し、現地ロケーションを考慮し、これからのリサイクル需要にも対応したコンパクトなレイアウトが可能となった。また、購入品はローカルメーカーを多く採用し、現地調達を可能とした。

2024年3月期実績 及び 2025年3月期見通し

2023年度実績

(単位:百万円)

| | 実績 | 対前年同期 | 対前年増減率 |
|---------------------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 44,097 | +4,432 | +11.2% |
| 営業利益 | 1,968 | +940 | +91.4% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,312 | +292 | +28.6% |
| 受注高 | 48,749 | +7,900 | +19.3% |

- ▶ AP事業売上高: 国内プラント販売+85.8%、メンテナンスサービス+3.8%と復調基調となるも海外事業が対前年同期比43.7%と大幅減となり、事業全体で+3.4%
- ▶ BP事業売上高: 国内製品販売前年並み、メンテナンスサービス増となり対前年同期比 +7.2%
- ▶ その他事業売上高: モバイルを中心とした破砕機関連事業が前年比+44.2%、M&Aにて事業拡大し製造請負関連事業が前年比+38.6%となり、その他事業を破砕機関連事業、製造請負関連事業、その他事業の3事業へ分割

事業環境

AP事業

| 23年度(23年4月-24年3月) | 実績(万トン) | 対前年同期比 |
|-------------------|---------|--------|
| 合材製造量 | 3,449 | △6.1% |
| 新規合材 | 830 | △9.4% |
| 再生合材 | 2,619 | △5.0% |

再生合材比率 75.9%

BP事業

| 23年度(23年4月-24年3月) | 実績(万m ³) | 対前年同期比 |
|-------------------|----------------------|--------|
| 生コンクリート出荷量 | 7,018 | △5.7% |

資料出所:(一社)日本アスファルト合材協会

資料出所:全国生コンクリート工業組合連合会・全国生コンクリート協同組合連合会



AP関連事業(国内):道路舗装会社の収益改善により設備投資が回復傾向
プラント販売対前年比+85.8%、メンテナンス+3.8%

⇒ P.37 AP関連事業



AP関連事業(タイ):プロモーション販売を起爆剤としたリサイクルプラント販売増加

⇒ P.37 AP関連事業、P.38 AP関連事業(内訳推移)



BP関連事業:市況の安定により通期を通して物件の増加が継続
市場シェアの拡大によりメンテナンス売上高が増加し利益増

⇒ P.39 BP関連事業、P.50 BPの事業環境と見通し



その他事業:破砕機関連事業のウクライナ復興特需および売上裾野拡大
製造請負関連事業のM&Aによる売上増加



受注、受注残高は高原状態を継続

⇒ P.34 受注高(累計)推移、P.35 期末受注残高推移



中国は不動産を始めとする景気悪化に伴い、対前年比△52.5%と半減

⇒ P.37 AP関連事業、P.38 AP関連事業(内訳推移)、
P.49 AP詳細と今後の戦略(2)



過去最高売上高見込

⇒ P.30 2024年度の業績見通し(1)、 P.61 主要財務データの推移



AP関連事業(国内): 道路舗装会社の収益改善により、停滞していた設備投資、設備維持費回復見込。脱炭素関連投資も拡大見込で売上、営業利益が回復見込

⇒ P.31-32 2024年度の業績見通し(2)、P.37 AP関連事業



BP関連事業: 前期比プラスの受注残。生コン市場にコストアップ分を適正に反映しており、市況の安定により安定した需要が継続見込み

⇒ P.31-32 2024年度の業績見通し(2)、P.39 BP関連事業



破碎機関連事業: ウクライナ特需剥落し、モバイル事業は売上、利益とも減少予想
ただし、国内設備の老朽化に伴う更新、増設、既納客へのメンテナンスなどにより売上ベースは拡大見込

⇒ P.31-32 2024年度の業績見通し(2)、P.41 その他事業



製造請負関連事業: 前期受注好調、期初注残高水準で売上・利益増の見通し
先送りされていた各種プラント案件の実施により、受注高は高水準だった前期比微増、売上高、営業利益は伸長を見込む

⇒ P.31-32 2024年度の業績見通し(2)、P.41 その他事業



AP関連事業(中国): 中国APは受注残が前期末より+70.9%でのスタートとなり
売上増加見込。ただし、受注は前年並となる見込
⇒ P.37 AP関連事業、P.49 AP詳細と今後の戦略(2)

対前年比実績

- ▶ 売上高 : AP事業 +5.9億円、BP事業+7.9億円、環境搬送事業 +4.2億円、その他事業+26.1億円
- ▶ 営業利益 : 国内AP事業が売上高が道路会社の設備投資需要の回復により徐々に回復。製造請負事業ではM&Aによりグループ入りした松田機工、破砕機関連事業ではウクライナ復興支援向け特需などにより増益
- ▶ 経常利益 : 営業利益の増加により増益
- ▶ 受注高 : AP事業 +13.3億円、BP事業 +28.6億円、環境搬送事業 +12.5億円、その他事業 +24.4億円
- ▶ 受注残高 : AP事業 +9.7億円、BP事業 +24.5億円、環境搬送事業 +4.9億円、その他事業 +7.9億円

(単位:百万円)

| | 2022年度実績 | 2023年度予想 | 23年度実績 | 対前年度増減額 | 対前年度増減率 |
|-----------------|----------|----------|--------|---------|---------|
| 売上高 | 39,665 | 44,000 | 44,097 | +4,432 | +11.2% |
| 営業利益 | 1,028 | 1,900 | 1,968 | +940 | +91.4% |
| 営業利益率 | 2.6% | 4.3% | 4.5% | - | +1.9pt |
| 経常利益 | 1,255 | 1,900 | 2,144 | +889 | +70.8% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,020 | 1,200 | 1,312 | +292 | +28.6% |
| 受注高 | 40,849 | 43,038 | 48,749 | +7,900 | +19.3% |
| 受注残高 | 17,656 | 16,694 | 22,371 | +4,715 | +26.7% |

2023年度 業績ハイライト(2)

(単位:百万円)

| | | 2022年度実績 | 2023年度予想 | 2023年度実績 | 対前年増減額 | 対前年増減率 |
|--------------------|-------|----------|----------|----------|--------|---------|
| AP関連事業 | 売上高 | 17,341 | 18,000 | 17,938 | +597 | +3.4% |
| | 営業利益 | 49 | 150 | 331 | +282 | +575.5% |
| | 営業利益率 | 0.3% | 0.8% | 1.8% | - | +1.5pt |
| BP関連事業 | 売上高 | 11,111 | 12,200 | 11,907 | +796 | +7.2% |
| | 営業利益 | 1,017 | 1,350 | 1,341 | +324 | +31.9% |
| | 営業利益率 | 9.2% | 11.1% | 11.3% | - | +2.1pt |
| 環境及び搬送 関連事業 | 売上高 | 2,888 | 3,100 | 3,309 | +421 | +14.6% |
| | 営業利益 | 522 | 700 | 793 | +271 | +51.9% |
| | 営業利益率 | 18.1% | 22.6% | 24.0% | - | +5.9pt |
| その他事業 (内訳は次ページ) | 売上高 | 8,324 | 10,700 | 10,940 | +2,617 | +31.4% |
| | 営業利益 | 1,044 | 1,350 | 1,314 | +270 | +25.9% |
| | 営業利益率 | 12.5% | 12.6% | 12.0% | - | △0.5pt |

- ▶ AP関連事業売上高 : 国内製品売上高:対前年比+85.8%、メンテナンスサービス:+3.8%、海外製品売上高:△43.7%
- ▶ BP関連事業売上高 : プラント製品売上高:対前年比△0.8%、メンテナンスサービス:+21.0%
- ▶ 環境及び搬送関連事業売上高 : 環境製品売上高:対前年比△0.7%、搬送製品売上高:+19.8%

2023年度 業績ハイライト(★その他事業内訳)

(単位:百万円)

| | | 2022年度実績 | 2023年度予想 | 2023年度実績 | 対前年増減額 | 対前年増減率 |
|--------------|-------|----------|----------|----------|--------|--------|
| 破砕機 関連事業 | 売上高 | 2,217 | 3,550 | 3,198 | +981 | +44.2% |
| | 営業利益 | 175 | 350 | 274 | +99 | +56.6% |
| | 営業利益率 | 7.9% | 9.9% | 8.6% | - | +0.7pt |
| 製造請負 関連事業 | 売上高 | 2,216 | 3,000 | 3,072 | +856 | +38.6% |
| | 営業利益 | 156 | 300 | 270 | +114 | +73.0% |
| | 営業利益率 | 7.0% | 10.0% | 8.8% | - | +1.7pt |
| その他事業 | 売上高 | 3,891 | 4,150 | 4,670 | +779 | +20.0% |
| | 営業利益 | 711 | 700 | 769 | +58 | +8.2% |
| | 営業利益率 | 18.3% | 16.9% | 16.5% | - | △1.8pt |

- ▶ 破砕機事業売上高 :対前年同期比 +44.2%
- ▶ 製造請負事業売上高 :対前年同期比 +38.6%
- ▶ その他事業売上高 :対前年同期比 +20.0%

2024年度の業績見通し(1)

(単位:百万円)

| | 上期 | | | 下期 | | | 通期 | | |
|-----------------|--------|--------|-------------------|--------|--------|-----------------|--------|--------|-----------------|
| | 23年度実績 | 24年度予想 | 対前年比 | 23年度実績 | 24年度予想 | 対前年比 | 23年度実績 | 24年度予想 | 対前年比 |
| 売上高 | 16,982 | 23,000 | +6,018 +35.4% | 27,115 | 25,000 | △2,115 △7.8% | 44,097 | 48,000 | +3,903 +8.9% |
| 営業利益 | 269 | 1,300 | +1,031 +383.3% | 1,699 | 1,300 | △399 △23.5% | 1,968 | 2,600 | +632 +32.1% |
| 営業利益率 | 1.6% | 5.7% | +4.1pt | 6.3% | 5.2% | △1.1pt | 4.5% | 5.4% | +0.9pt |
| 経常利益 | 455 | 1,300 | +845 +185.7% | 1,689 | 1,300 | △389 △23.0% | 2,144 | 2,600 | +456 +21.3% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 348 | 850 | +502 +144.3% | 964 | 850 | △114 △11.8% | 1,312 | 1,700 | +388 +29.6% |
| 受注高 | 25,128 | 21,500 | △3,628 △14.4% | 23,621 | 23,750 | +129 +0.5% | 48,749 | 45,250 | △3,499 △7.1% |
| 受注残高 | 25,986 | 24,008 | △1,978 △7.6% | 22,371 | 20,500 | △1,871 △8.3% | 22,371 | 20,500 | △1,871 △8.4% |

2024年度の業績見通し(2)

(単位:百万円)

| | | 上期 | | | 下期 | | | 通期 | | |
|--------------------|-------|--------|--------|-------------------|--------|--------|-----------------|--------|--------|------------------|
| | | 23年度実績 | 24年度予想 | 対前年比 | 23年度実績 | 24年度予想 | 対前年比 | 23年度実績 | 24年度予想 | 対前年比 |
| AP関連事業 | 売上高 | 7,114 | 10,000 | +2,886 +40.6% | 10,824 | 9,800 | Δ1,024 Δ9.5% | 17,938 | 19,800 | +1,862 +10.4% |
| | 営業利益 | 29 | 880 | +851 +2,934.5% | 302 | 320 | +18 +6.0% | 331 | 1,200 | +869 +262.5% |
| | 営業利益率 | 0.4% | 8.8% | +8.4pt | 2.8% | 3.3% | +0.5pt | 1.8% | 6.1% | +4.3pt |
| BP関連事業 | 売上高 | 5,049 | 6,300 | +1,251 +24.8% | 6,858 | 6,500 | Δ358 Δ5.2% | 11,907 | 12,800 | +893 +7.5% |
| | 営業利益 | 504 | 750 | +246 +48.8% | 837 | 700 | Δ137 Δ16.4% | 1,341 | 1,450 | +109 +8.1% |
| | 営業利益率 | 10.0% | 11.9% | +1.9pt | 12.2% | 10.8% | Δ1.4pt | 11.3% | 11.3% | +0.0pt |
| 環境及び 搬送関連事業 | 売上高 | 1,450 | 1,400 | Δ50 Δ3.4% | 1,859 | 1,800 | Δ59 Δ3.2% | 3,309 | 3,200 | Δ109 Δ3.3% |
| | 営業利益 | 332 | 140 | Δ192 Δ57.8% | 461 | 240 | Δ221 Δ47.9% | 793 | 380 | Δ413 Δ52.1% |
| | 営業利益率 | 22.9% | 10.0% | Δ12.9pt | 24.8% | 13.3% | Δ11.5pt | 24.0% | 11.9% | Δ12.1pt |
| その他事業 (内訳は次ページ) | 売上高 | 3,367 | 5,300 | +1,933 +57.4% | 7,573 | 6,900 | Δ673 Δ8.9% | 10,940 | 12,200 | +1,260 +11.5% |
| | 営業利益 | 215 | 530 | +315 +146.5% | 1,098 | 1,040 | Δ58 Δ5.3% | 1,314 | 1,570 | +256 +19.5% |
| | 営業利益率 | 6.4% | 10.0% | +3.6pt | 14.5% | 15.1% | +0.6pt | 12.0% | 12.9% | +0.4pt |

- ▶ AP関連事業 : 道路舗装会社の収益改善による設備投資・維持費の回復、脱炭素関連投資拡大により売上高、利益回復予想
- ▶ BP関連事業 : 生コン価格の値上げの浸透により市況は安定し売上・利益増の見通し
- ▶ 環境搬送関連事業 : 搬送は堅調な売上継続により増収
環境は万博向け案件終了により売上、利益ともに一段落

2024年度の業績見通し(2)

(単位:百万円)

| | | 上期 | | | 下期 | | | 通期 | | |
|--------------|-------|--------|--------|-----------------|--------|--------|------------------|--------|--------|------------------|
| | | 23年度実績 | 24年度予想 | 対前年比 | 23年度実績 | 24年度予想 | 対前年比 | 23年度実績 | 24年度予想 | 対前年比 |
| 破碎機 関連事業 | 売上高 | 1,078 | 1,800 | +722 +67.0% | 2,120 | 1,100 | △1,020 △48.1% | 3,198 | 2,900 | △298 △9.3% |
| | 営業利益 | 56 | 180 | +124 +221.4% | 218 | 20 | △198 △90.8% | 274 | 200 | △74 △27.0% |
| | 営業利益率 | 5.2% | 10.0% | +4.8pt | 10.3% | 1.8% | △8.5pt | 8.6% | 6.9% | △1.7pt |
| 製造請負 関連事業 | 売上高 | 369 | 1,000 | +631 +171.0% | 2,703 | 2,300 | △403 △14.9% | 3,072 | 3,300 | +228 +7.4% |
| | 営業利益 | △32 | 60 | +92 +287.5% | 302 | 220 | △82 △27.2% | 270 | 280 | +10 +3.7% |
| | 営業利益率 | △8.7% | 6.0% | +14.7pt | 11.2% | 9.6% | △1.6pt | 8.8% | 8.5% | △0.3pt |
| その他事業 | 売上高 | 1,919 | 2,500 | +581 +30.3% | 2,751 | 3,500 | +749 +27.2% | 4,670 | 6,000 | +1,330 +28.5% |
| | 営業利益 | 191 | 290 | +99 +51.8% | 578 | 800 | +222 +38.4% | 769 | 1,090 | +321 +41.7% |
| | 営業利益率 | 10.0% | 11.6% | +1.6pt | 21.0% | 22.9% | +1.9pt | 16.5% | 18.2% | +1.7pt |

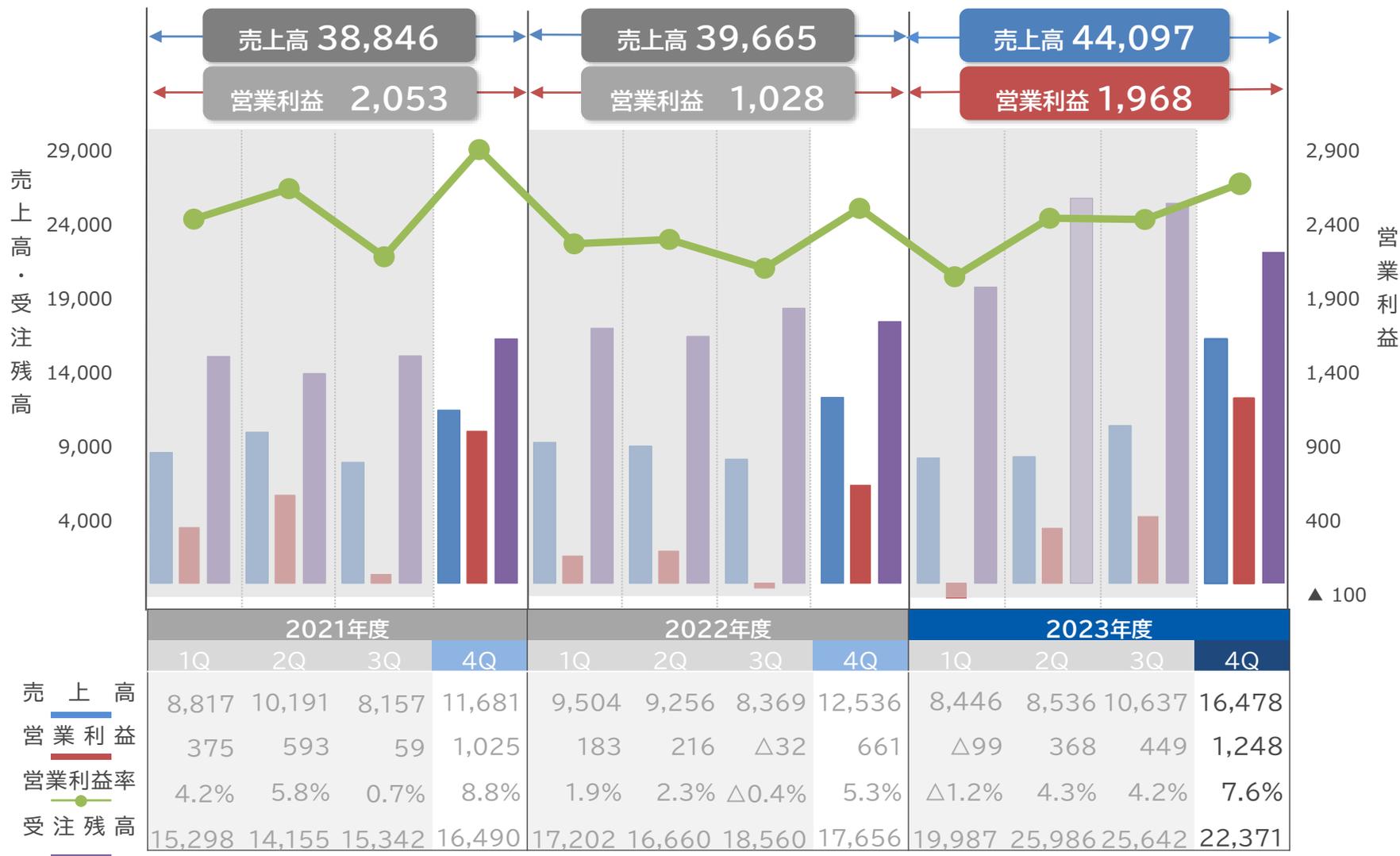
▶ 破碎機関連事業:

【モバイルプラント】輸出特需がひと段落にて減収減益の見通し。引き続き、国内需要は設備の老朽化に伴う更新、増設など、堅調推移
【前川】リサイクル関係を中心に受注好調にて増収増益の見通し

▶ 製造請負関連事業: 高い製造技術を背景に前期受注好調、期末受注残高が高水準で売上・利益増の見通し

四半期別売上高・営業利益推移

(単位:百万円)

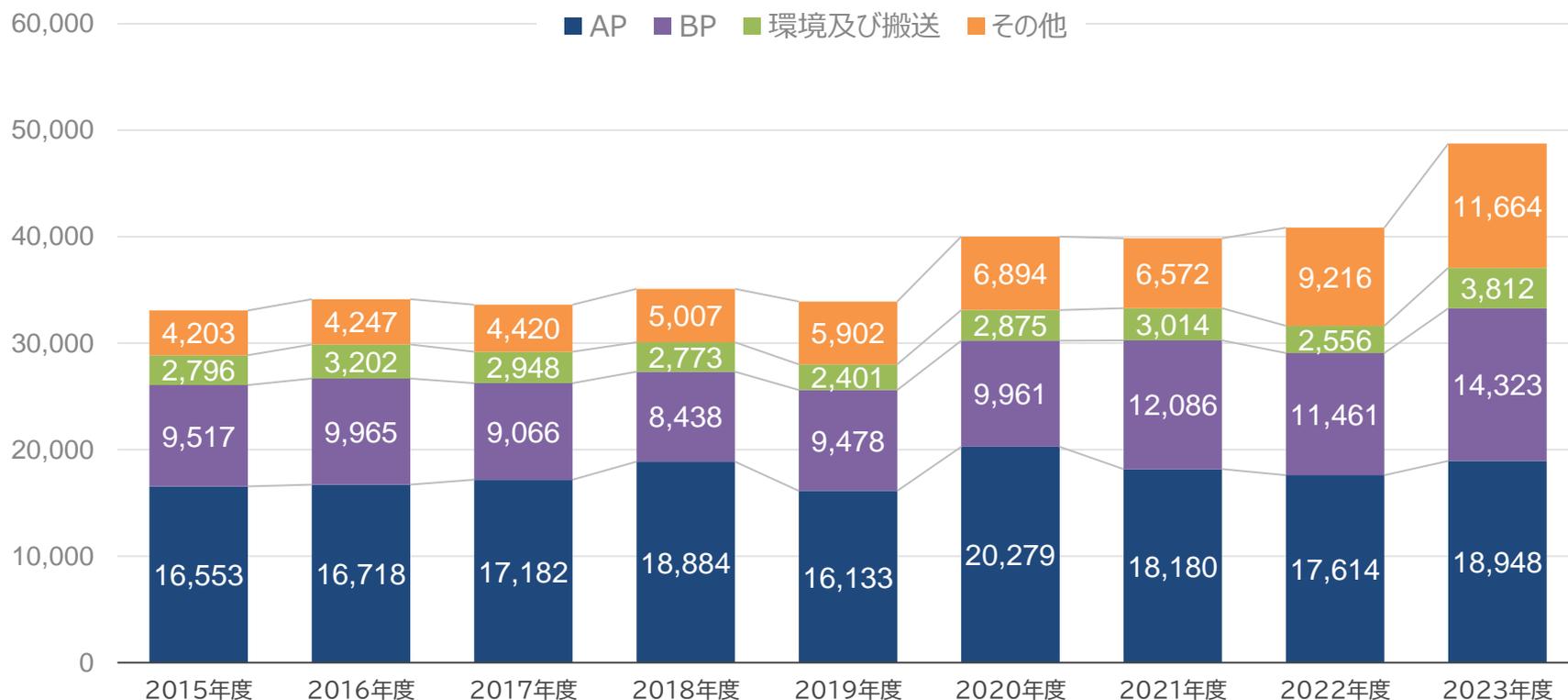


受注高(累計)推移

通期推移

(単位:百万円)

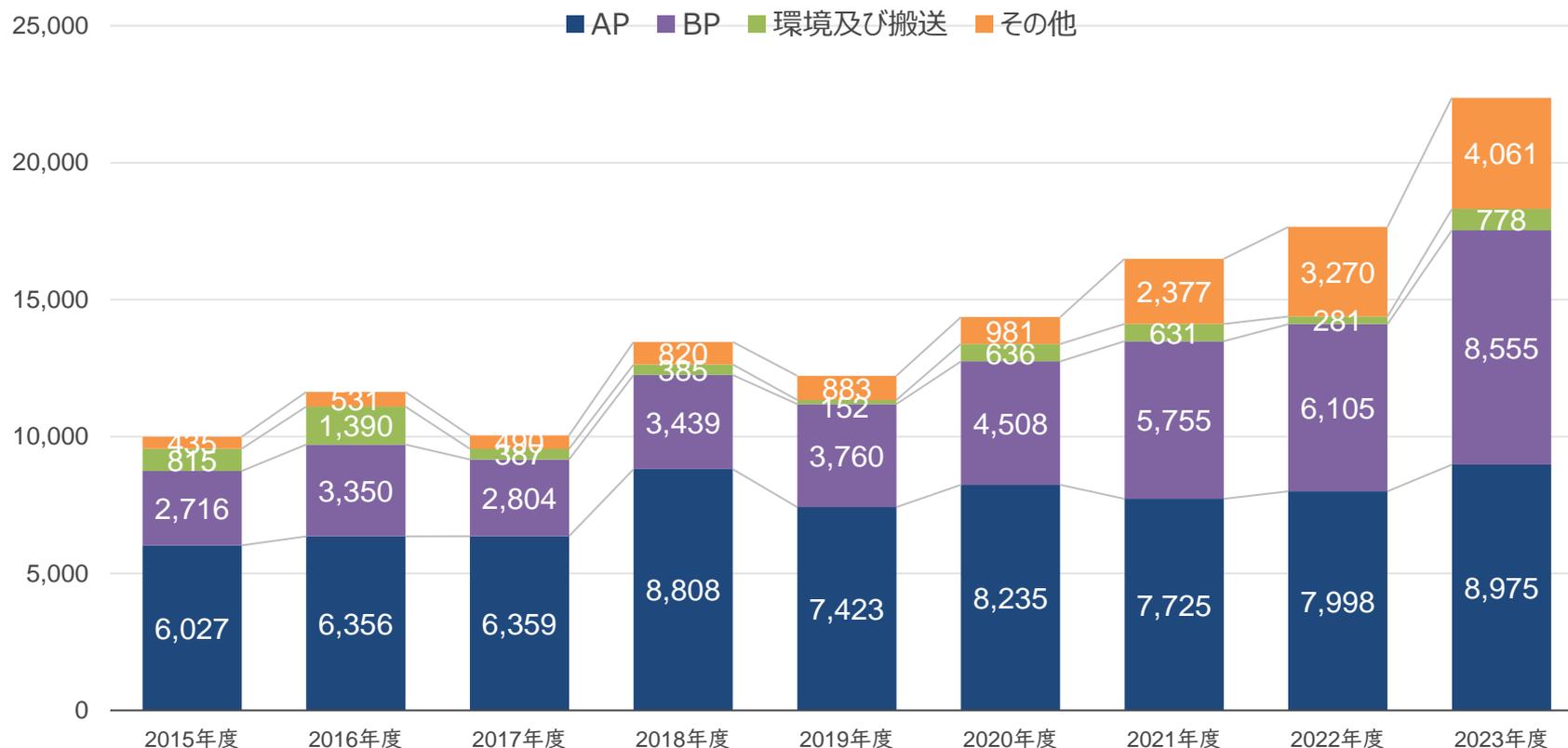
| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 対前年比 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| AP | 16,553 | 16,718 | 17,182 | 18,884 | 16,133 | 20,279 | 18,180 | 17,614 | 18,948 | +7.6% |
| BP | 9,517 | 9,965 | 9,066 | 8,438 | 9,478 | 9,961 | 12,086 | 11,461 | 14,323 | +25.0% |
| 環境及び搬送 | 2,796 | 3,202 | 2,948 | 2,773 | 2,401 | 2,875 | 3,014 | 2,556 | 3,812 | +49.2% |
| その他 | 4,203 | 4,247 | 4,420 | 5,007 | 5,902 | 6,894 | 6,572 | 9,216 | 11,664 | +26.5% |
| 計 | 33,069 | 34,134 | 33,616 | 35,103 | 33,915 | 40,009 | 39,853 | 40,849 | 48,749 | +19.3% |



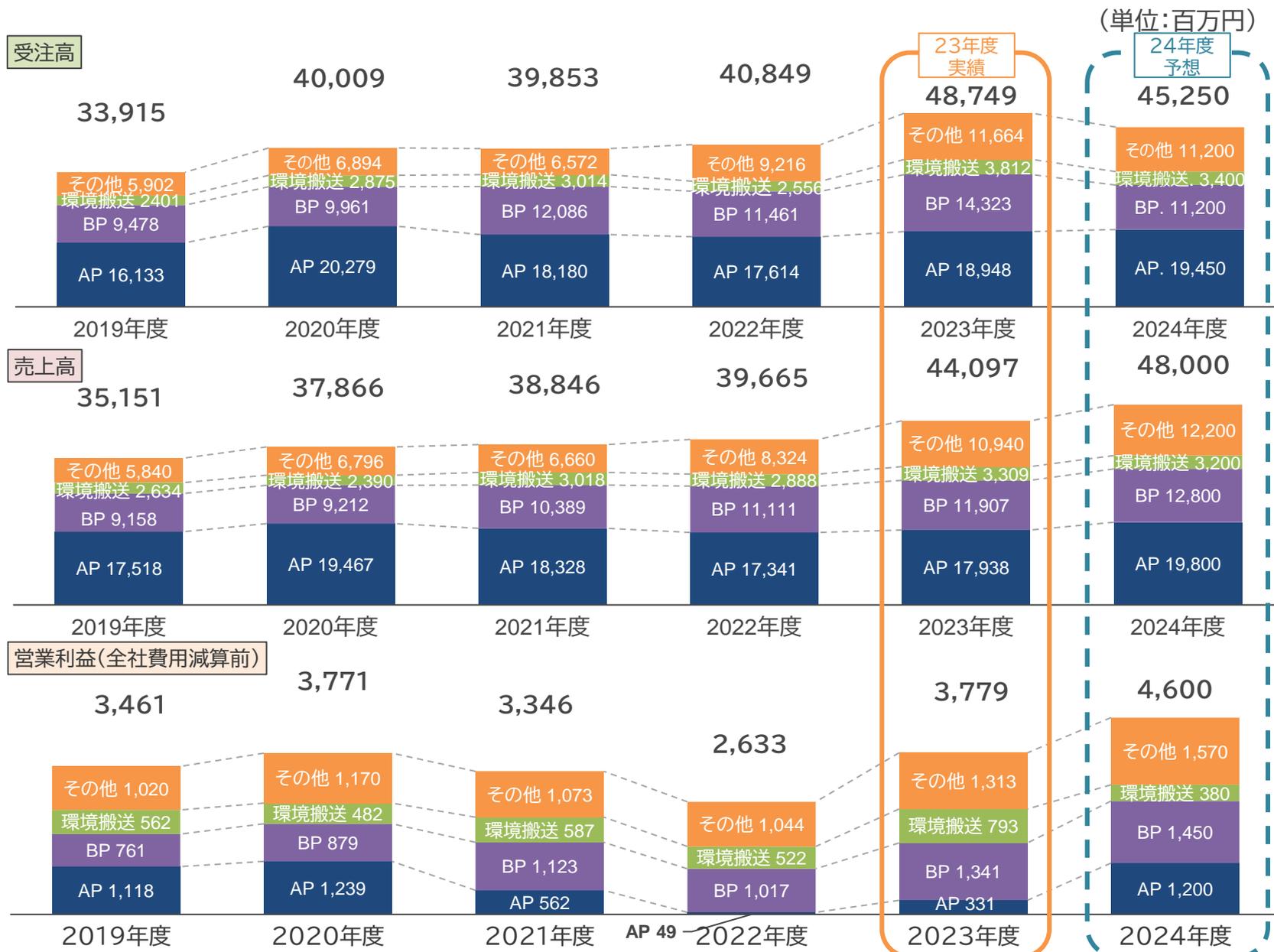
通期推移

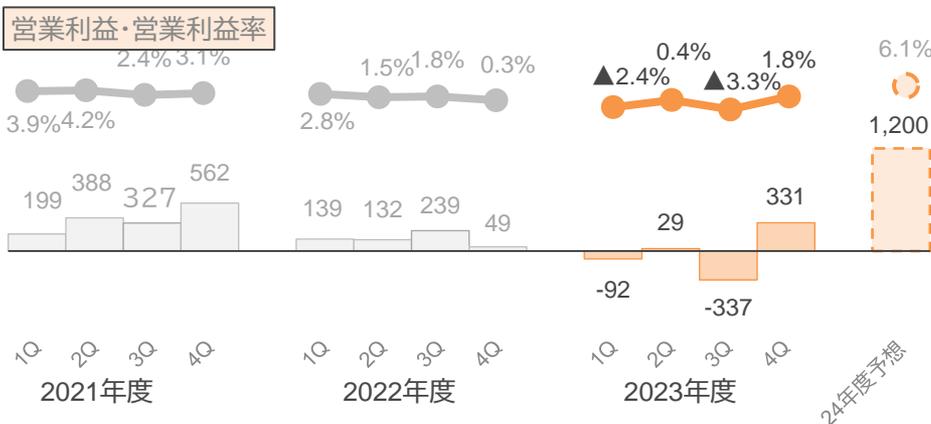
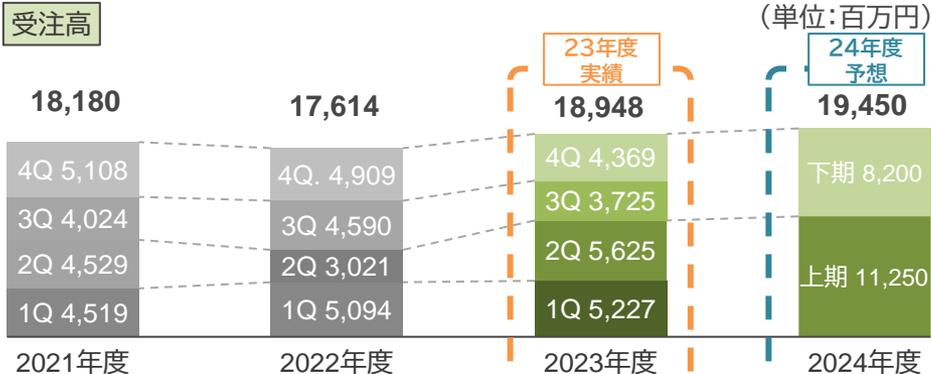
(単位:百万円)

| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 対前年比 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| AP | 6,027 | 6,356 | 6,359 | 8,808 | 7,423 | 8,235 | 7,725 | 7,998 | 8,975 | +12.2% |
| BP | 2,716 | 3,350 | 2,894 | 3,439 | 3,760 | 4,508 | 5,755 | 6,105 | 8,555 | +40.1% |
| 環境及び搬送 | 815 | 1,390 | 387 | 385 | 152 | 636 | 631 | 281 | 778 | +176.5% |
| その他 | 435 | 531 | 490 | 820 | 883 | 981 | 2,377 | 3,270 | 4,061 | +24.1% |
| 計 | 9,997 | 11,629 | 10,132 | 13,454 | 12,219 | 14,361 | 16,490 | 17,656 | 22,371 | +26.7% |



セグメント毎 受注・売上・営業利益推移





▶ 受注高

+ 要因 国内: 道路舗装会社の収益改善により、停滞していた設備投資が回復傾向に
 タイ: リサイクル需要活性化による需要増

△ 要因 中国: ゼロコロナ政策は解除されたが、不動産不況の影響もあり景気回復には時間が掛かる模様で受注大幅減

▶ 売上高

+ 要因 国内: 道路舗装会社の収益改善により、抑制傾向にあった設備投資・維持費が回復の兆し
 タイ: プロモーション販売を起爆剤としたリサイクルプラント販売増加

△ 要因 中国: 大型道路工事の一巡し、先行き不透明感も加わりプラント需要が急減して大幅減収

▶ 営業利益

+ 要因 国内: フォームド装置をはじめとした脱炭素関連投資が増加、利益アップにつながった

△ 要因 中国: 需要減及び購入延期等による売上の大幅減により営業損失となる
 タイ: 工場設備投資及び人件費上昇

24年度見込

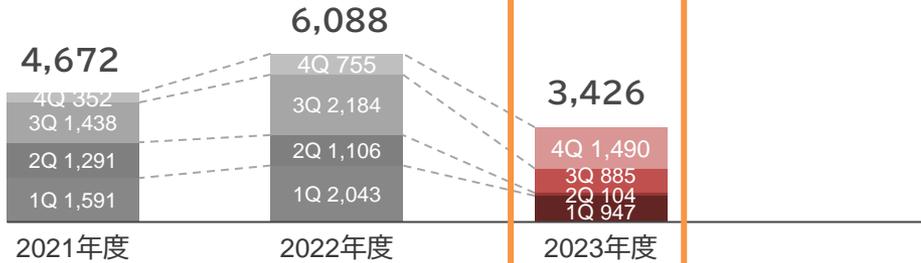
- 国内: 道路舗装会社の収益改善による設備投資・維持費の回復脱炭素関連投資拡大により売上高、利益回復予想
- 中国: 政府の経済対策により底打ち感が出てきたものの需要回復には時間が掛かる模様
- タイ: ASEANニーズを取入れた新型プラントをローンチしリサイクルプラントの需要拡大と併せ営業利益率アップを見込む

(単位:百万円)

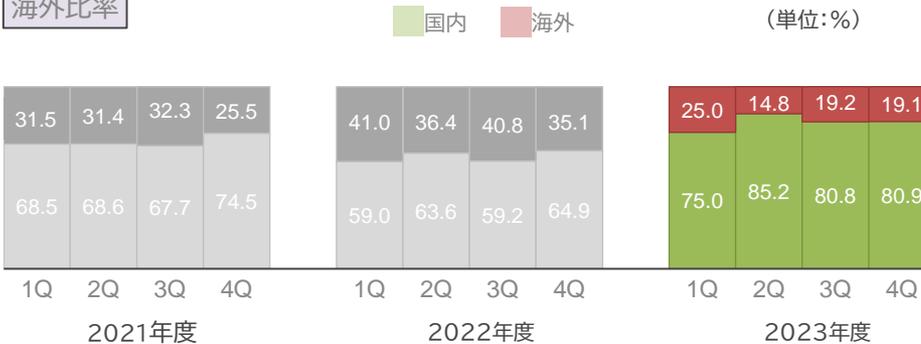
国内売上高



海外売上高



海外比率



国内売上高

- ・対前年比 +29.0%
- ・プラント製品、対前年比 +85.8%
- ・メンテナンス、対前年比 +3.8%

海外売上高

- ・対前年比 Δ 43.7%
- ・輸出：対前年比 Δ 28.8%
- ・中国：対前年比 Δ 52.5%
- ・タイ：対前年比 +14.7%

○中国

政府の経済対策等により商談数は回復傾向にあるが、競争は厳しく高速道路工事用大型工事が少なく新規購入は遅延
定置工場用も許認可等で遅延傾向にあり伸び悩む

○タイ

リサイクル合材用機械基準がタイ道路局にて制定され本格的にリサイクルプラントの需要が始まり、各地区の主要道路会社より導入が開始された

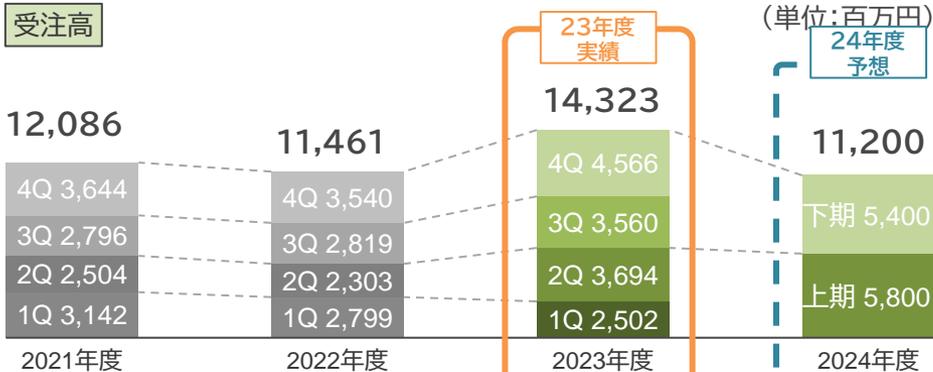
○輸出(台湾、海外業務)

部品売上は減少も、台湾は堅調

海外受注高・受注残高

| | 受注 | 受注残高 |
|-------------|--------------------|--------------------|
| 中国(日工上海) | 35.0億円 (+12.3%) | 14.3億円 (+70.9%) |
| タイ(NAT/NIC) | 21.4億円 | 10.9億円 |
| 輸出 | 8.1億円 | 4.4億円 |

※輸出は海外売上から中国・タイ・部品分を差し引いた数値

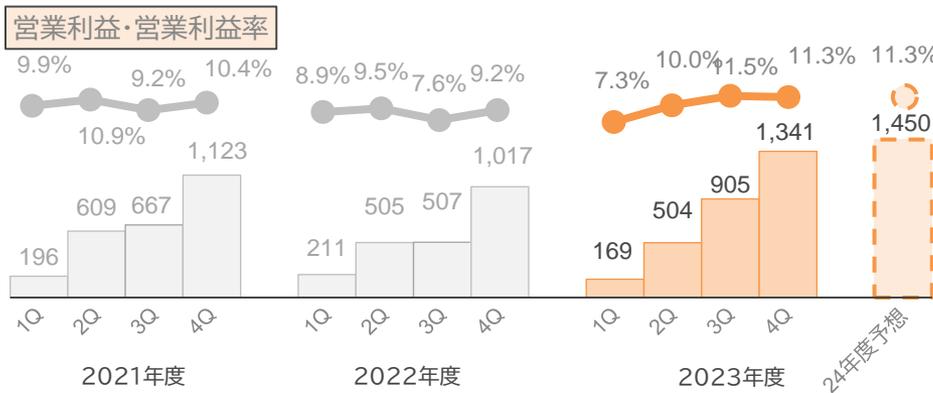


▶ 受注高
 + 要因: 生コン出荷数量は減少するものの、生コン価格値上げ浸透で市況が安定した事によりユーザーの高い投資意欲が継続



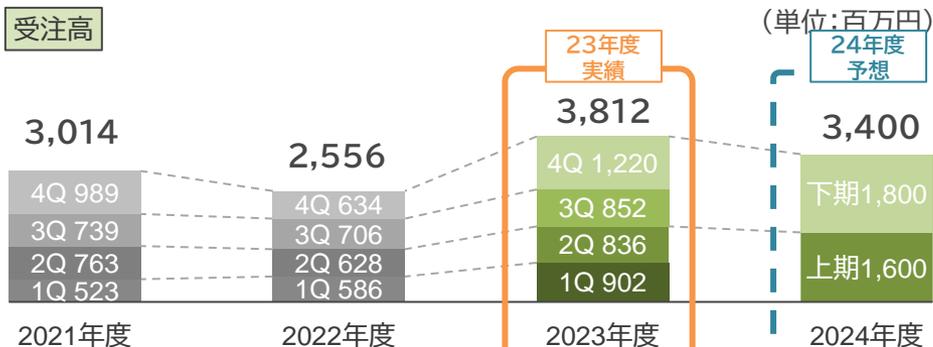
▶ 売上高
 + 要因: 市況の安定により通期を通して物件の増加が継続

▶ 営業利益
 + 要因: 原材料価格高騰による価格への転嫁が徐々に進み利益率増



24年度見込
 生コン出荷数量は年々減少するも生コン業界では電力・原材料や輸送コストアップ分を適正に価格転嫁し市場に反映されたことにより市況が安定
 安定した設備投資需要が継続する見込み

受注高



受注高

+ 要因: 環境向け案件の数量増
大型案件 鉄道向けNBSホッパ受注により増

売上高



売上高

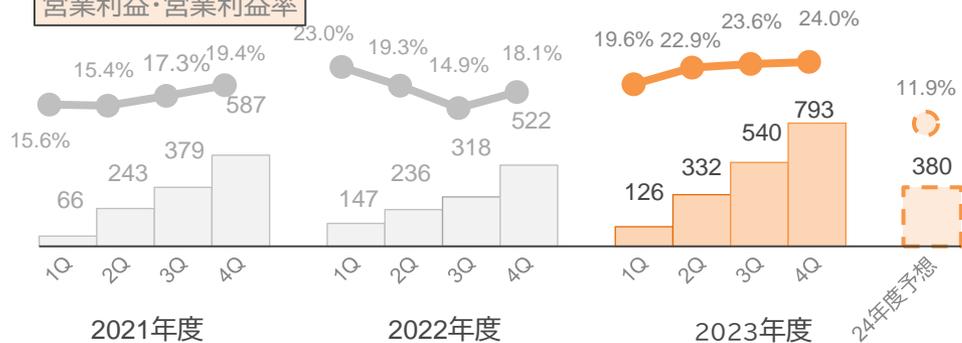
+ 要因: 大阪万博関連、福島汚染土壌処理関連など残土処理装置6件売上

他、環境対応型微粉炭+重油混焼バーナー売上

営業利益

+ 要因: 搬送の堅調な売上継続、環境の同様機種の上などにより利益増

営業利益・営業利益率

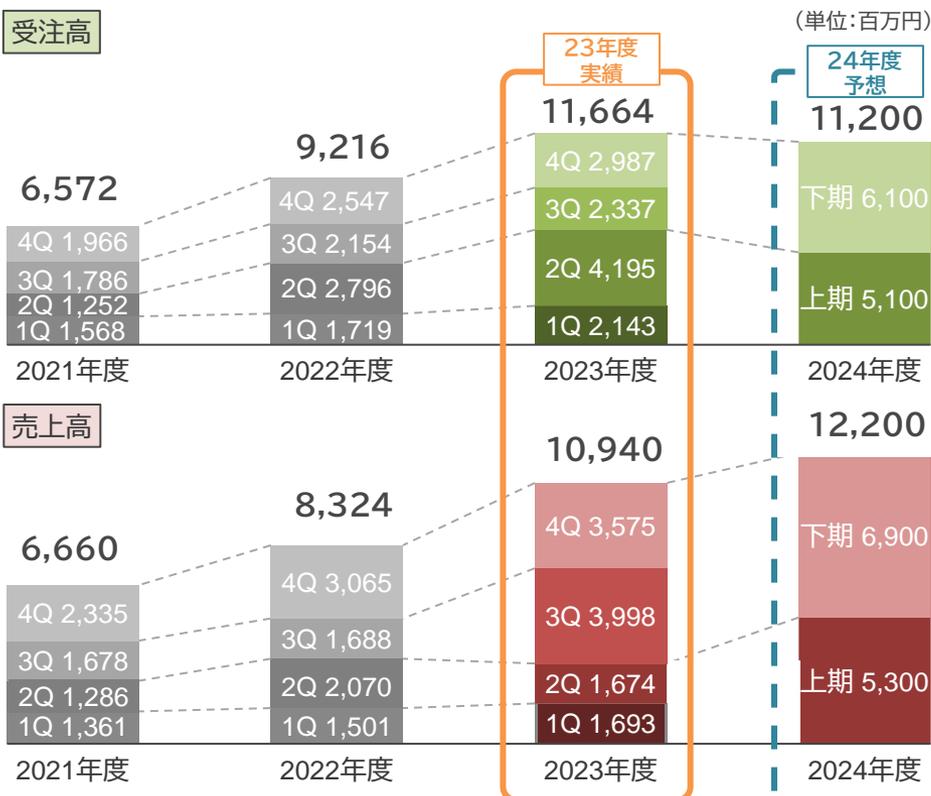


24年度見込

搬送は堅調な売上継続により増収

環境は万博向け案件終了により売上、利益ともに一段落

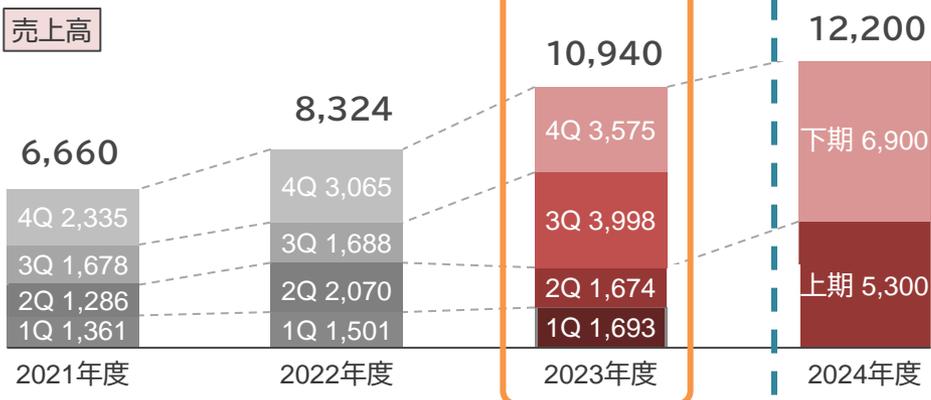
受注高



受注高

| | | |
|-----------|------|--------|
| ・破碎機関連事業 | 対前年比 | +45.3% |
| ・製造請負関連事業 | 対前年比 | +42.2% |
| ・その他事業 | 対前年比 | +7.2% |

売上高



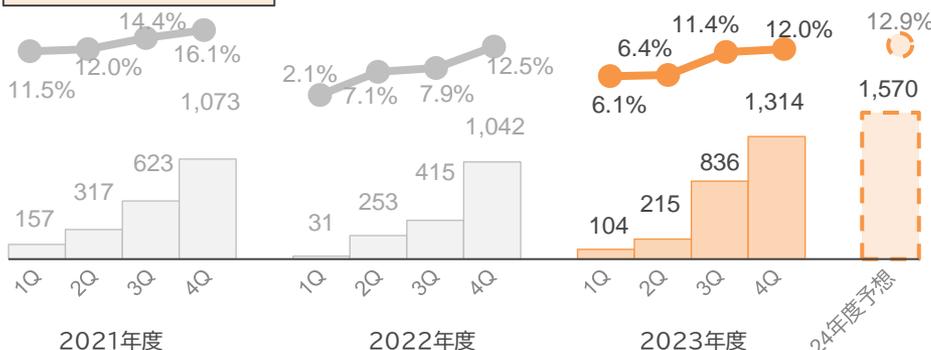
売上高

| | | |
|-----------|------|--------|
| ・破碎機関連事業 | 対前年比 | +44.2% |
| ・製造請負関連事業 | 対前年比 | +38.6% |
| ・その他事業 | 対前年比 | +20.0% |

営業利益

| | | |
|-----------|------|--------|
| ・破碎機関連事業 | 対前年比 | +56.6% |
| ・製造請負関連事業 | 対前年比 | +73.1% |
| ・その他事業 | 対前年比 | +8.2% |

営業利益・営業利益率



24年度見込

・破碎機関連事業:

【モバイルプラント】

新規販売先への拡販及び土質改良機など製品ラインナップの拡充による売上高増、拡販による市場既納製品のメンテナンスによる収益拡大(ウクライナ特需を除く)を予想

【前川工業所】

新テストセンター活用による受注件数アップおよび産業機械営業部との協力による増収増益を見込む

・製造請負関連事業:

先送りされていた各種プラント案件の実施により、受注高は高水準だった前期比微減、売上高、営業利益は伸長を予想

その他事業(新セグメント分け)



営業利益・営業利益率

| 項目 | 2022年度 | 2023年度 | 24年度予想 |
|------|--------|--------|--------|
| その他 | 18.3% | 16.5% | 18.2% |
| 製造請負 | 7.0% | 8.8% | 8.5% |
| 破碎機 | 7.9% | 8.6% | 6.9% |



▶ 受注高

○ 破碎機関連事業

- 前年同期 +1,061百万円
- ・モバイルプラント 前年同期 36台 1,990百万円
→ 46台 3,081百万円
- ・定置式破碎機 前年同期 17台 126.3百万円
→ 22台 209.1百万円

モバイルプラント: KLEEMANN製品を主に引き続き国内の引き合い増加及び新製品投入による引き合い増加

定置式破碎機 : 来期向けの引き合い好調にて受注増加

○ 製造請負関連事業

- ・宇部興機 前年同期比 +451百万円
- ・松田機工 今期9月より 491百万円計上

(宇部、松田ともに)水処理、環境関連を中心に引合い増加し、受注が伸長

▶ 売上高

○ 破碎機関連事業

- 前年同期 +981百万円
- ・モバイルプラント 前年同期 37台 1,795百万円
→ 47台 2,896百万円
- ・定置式破碎機 前年同期 23台 250.2百万円
→ 15台 123.7百万円

モバイルプラント: 国内の引き合いが増加が継続、ODAでのウクライナへの輸出特需

定置式破碎機 : 期中売上の受注低調、大型案件もなく売上減

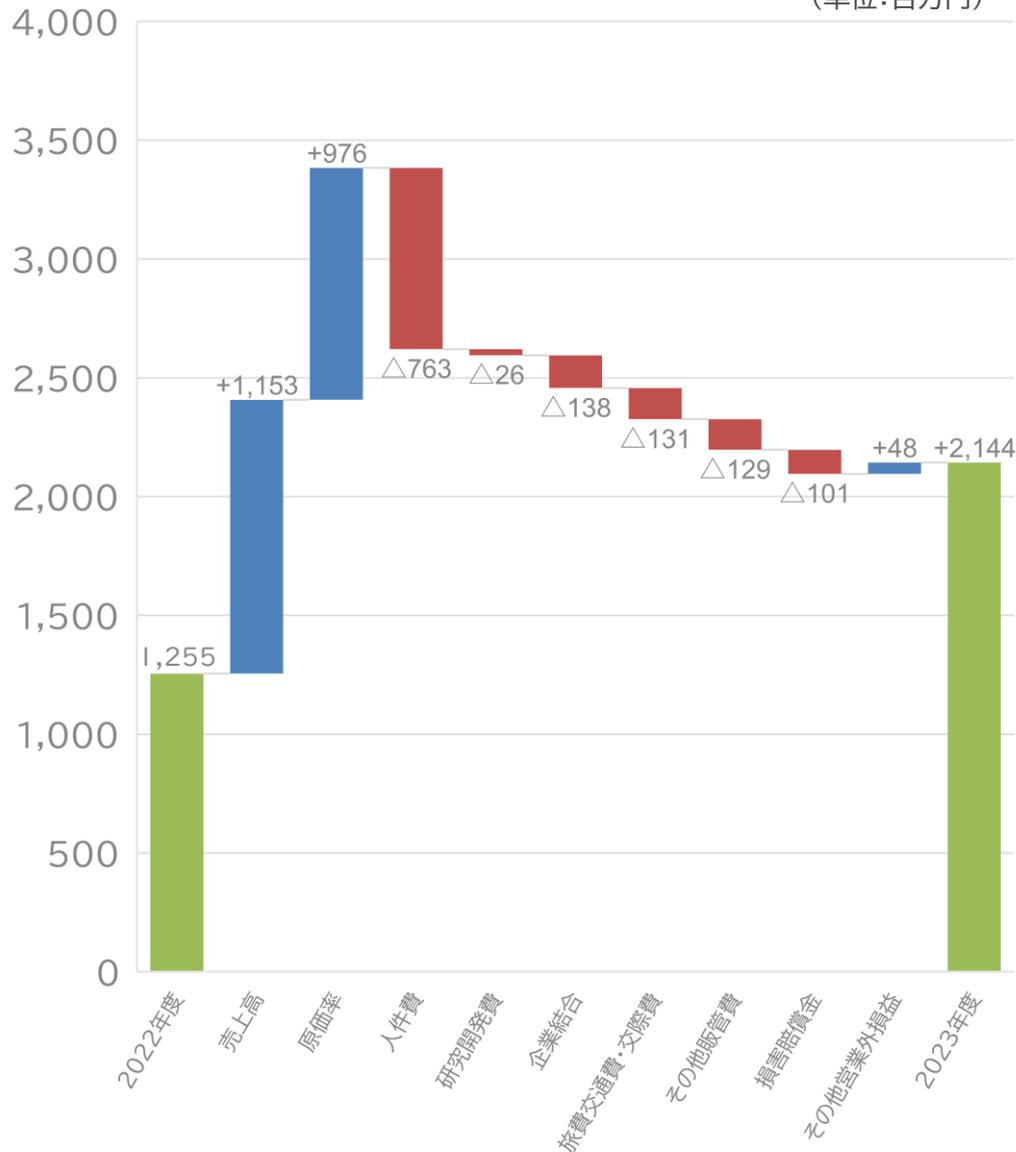
○ 製造請負関連事業

- 宇部興機 前年同期 +305百万円
 - 松田機工 今期9月より加算 467百万円
- 期初注残が多かったことにより売上も前年同期比増

2023年度通期 経常利益 増減要因分析

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

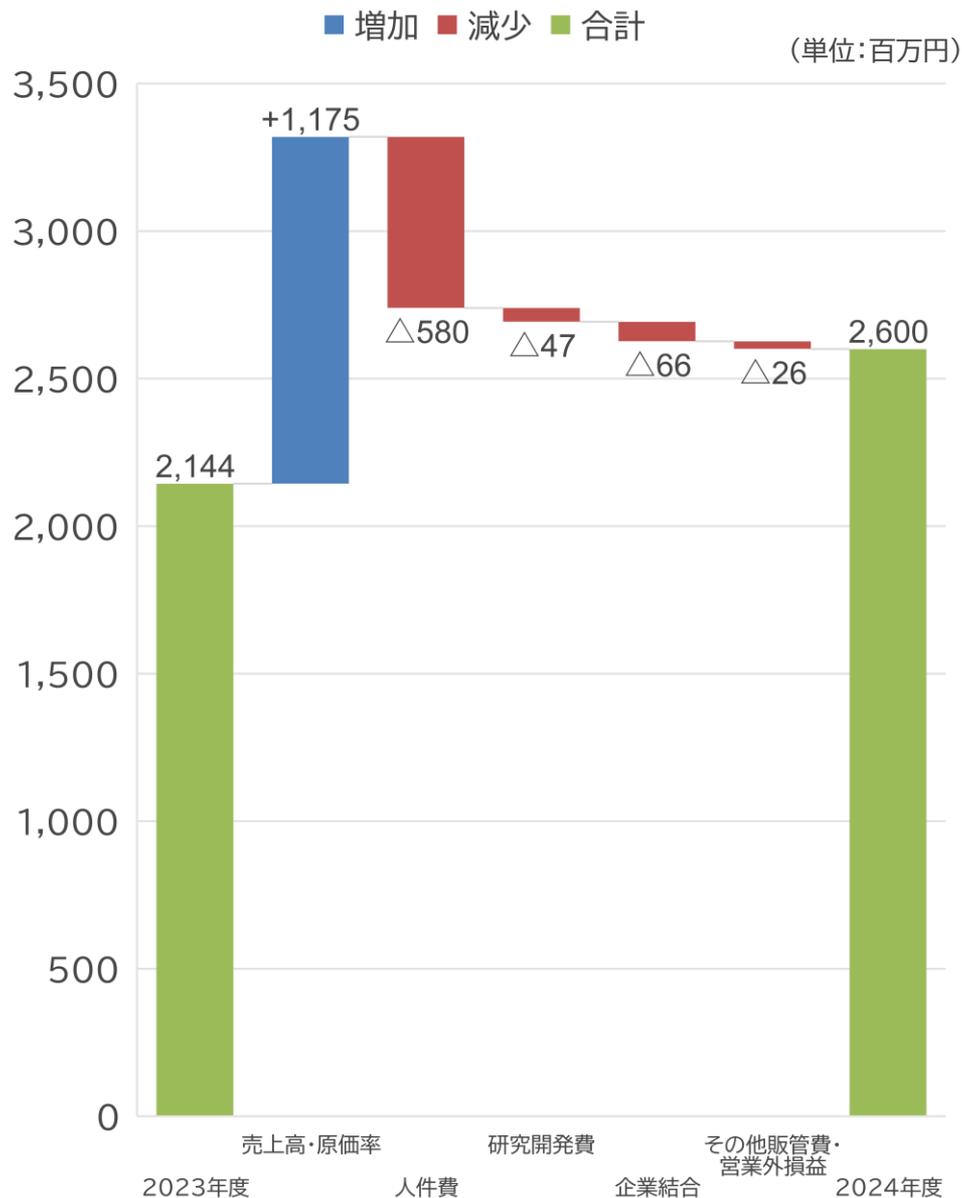
(単位:百万円)



(単位:百万円)

| 項目 | 影響額 | 内容 |
|---------------|--------|----------------------------------|
| 売上高 | +1,153 | 売上高の増加 4,432百万円 |
| 原価率 | +976 | 原価率の改善 (労務費除く) 74.0%→72.5% |
| 人件費 | △763 | 人員増、 ベースアップ |
| 研究開発費 | △26 | 開発費用の増加 |
| 企業結合 | △138 | 松田機工の販管費、 株式取得関連費用 |
| 旅費交通費・ 交際費 | △131 | コロナ終息、 出張・接待交際の増加 |
| その他 販管費 | △129 | 事務費等増加 |
| 損害賠償金 | △101 | 損害賠償金の増加 |
| その他 営業外損益 | +48 | |

2024年度通期 経常利益 増減要因分析(予想)



(単位:百万円)

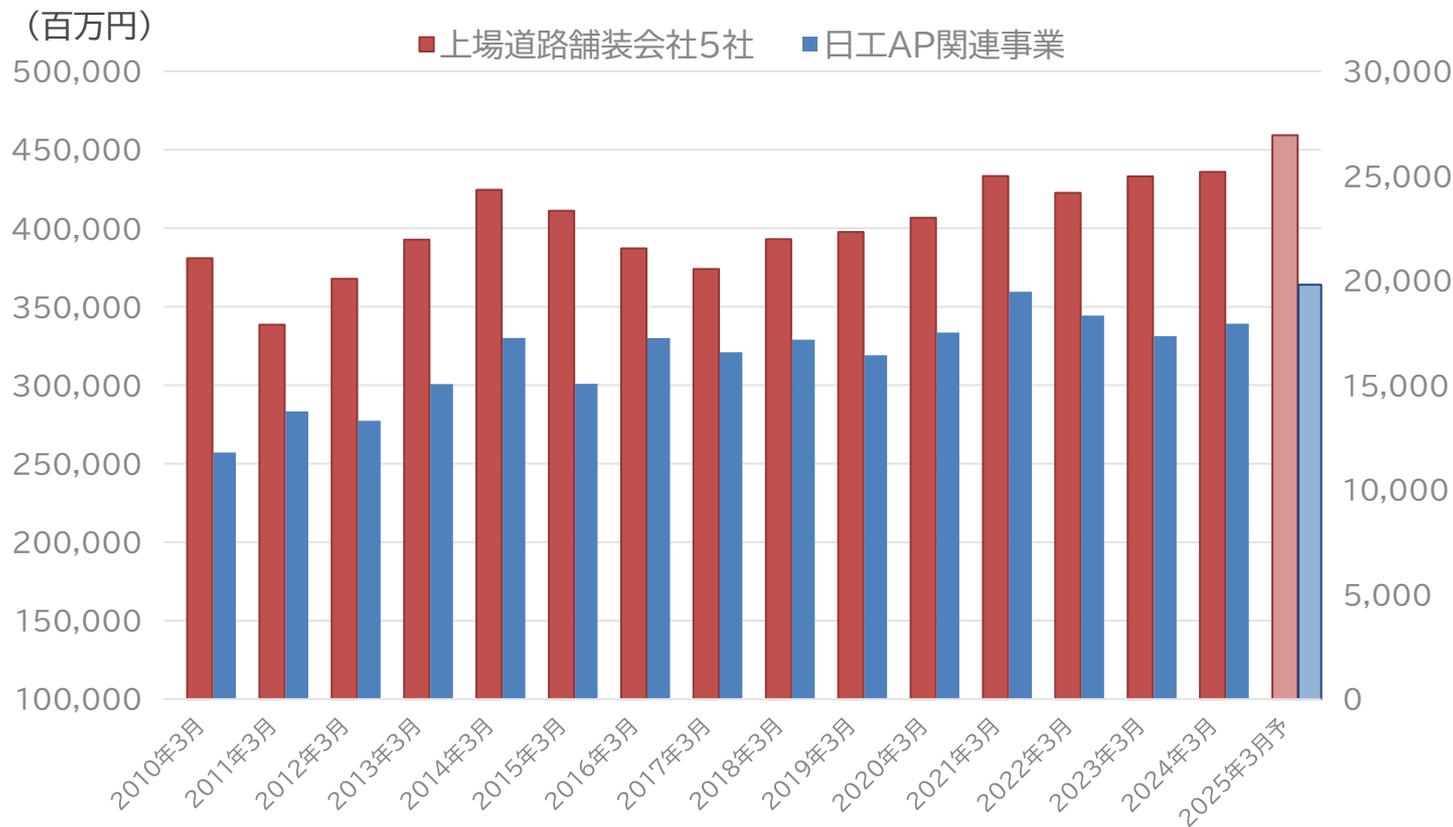
| 項目 | 影響額 | 内容 |
|-----------------|--------|---|
| 売上高・原価率 | +1,175 | 売上高の増加 3,903百万円 |
| 人件費 | △580 | 賃金アップ △240 人員増加 △300 売上400億RS △40 |
| 研究開発費 | △47 | 開発費用の増加 |
| 企業結合 | △66 | 西日本不動産 162期よりP/L取込 |
| その他販管費 営業外損益 | △26 | |

(単位:百万円)

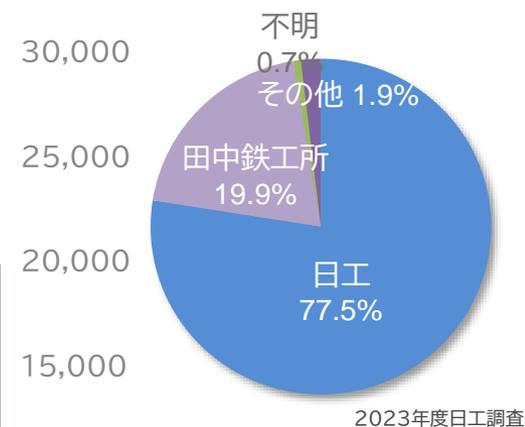
| | | 2022年度末 | 2023年度末 | 増減 | 増減の主な要因 |
|-------------------------------|------------------|---------------|---------------|----------------|---|
| 資 産 | 流動資産 | 33,723 | 41,033 | +7,310 | 増加: 現金及び預金 +5,234百万円 売掛金 +2,330百万円 仕掛品 +900百万円 電子記録債権 +186百万円 減少: その他 △646百万円 受取手形 △584百万円 商品及び製品 △163百万円 |
| | 有形固定資産 | 11,839 | 13,247 | +1,408 | 増加: 投資有価証券 +1,760百万円 建設仮勘定 +842百万円 土地 +326百万円 建物及び構築物 +230百万円 |
| | 無形固定資産 | 1,020 | 1,208 | +188 | 減少: 繰延税金資産 △432百万円 その他無形固定資産 △76百万円 |
| | 投資その他 | 5,544 | 6,740 | +1,196 | |
| | 総 資 産 合 計 | 52,127 | 62,229 | +10,102 | |
| 負 債 | 流動負債 | 15,338 | 21,743 | +6,405 | 増加: 短期借入金 +2,854百万円 長期借入金 +2,101百万円 契約負債 +912百万円 未払法人税等 +700百万円 ファクタリング未払金 +513百万円 支払手形及び買掛金 +244百万円 減少: 受注損失引当金 △90百万円 |
| | 固定負債 | 5,184 | 7,399 | +2,215 | |
| 純 資 産 合 計 | | 31,604 | 33,086 | +1,482 | 増加: その他有価証券評価差額金 +1,158百万円 利益剰余金 +163百万円 |
| 1 株 当 たり 純 資 産 (円 銭) | | 826.73 | 861.74 | +35.01 | |

事業環境と経営戦略

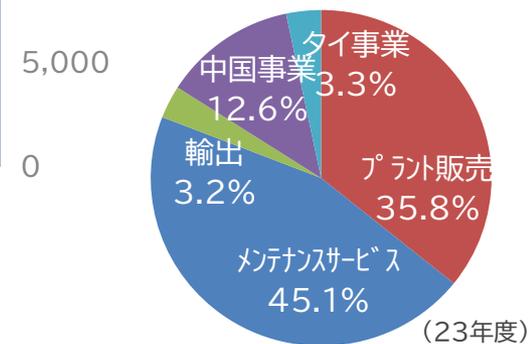
上場道路舗装会社(5社計)・日工AP関連事業 売上推移



AP静態シェア

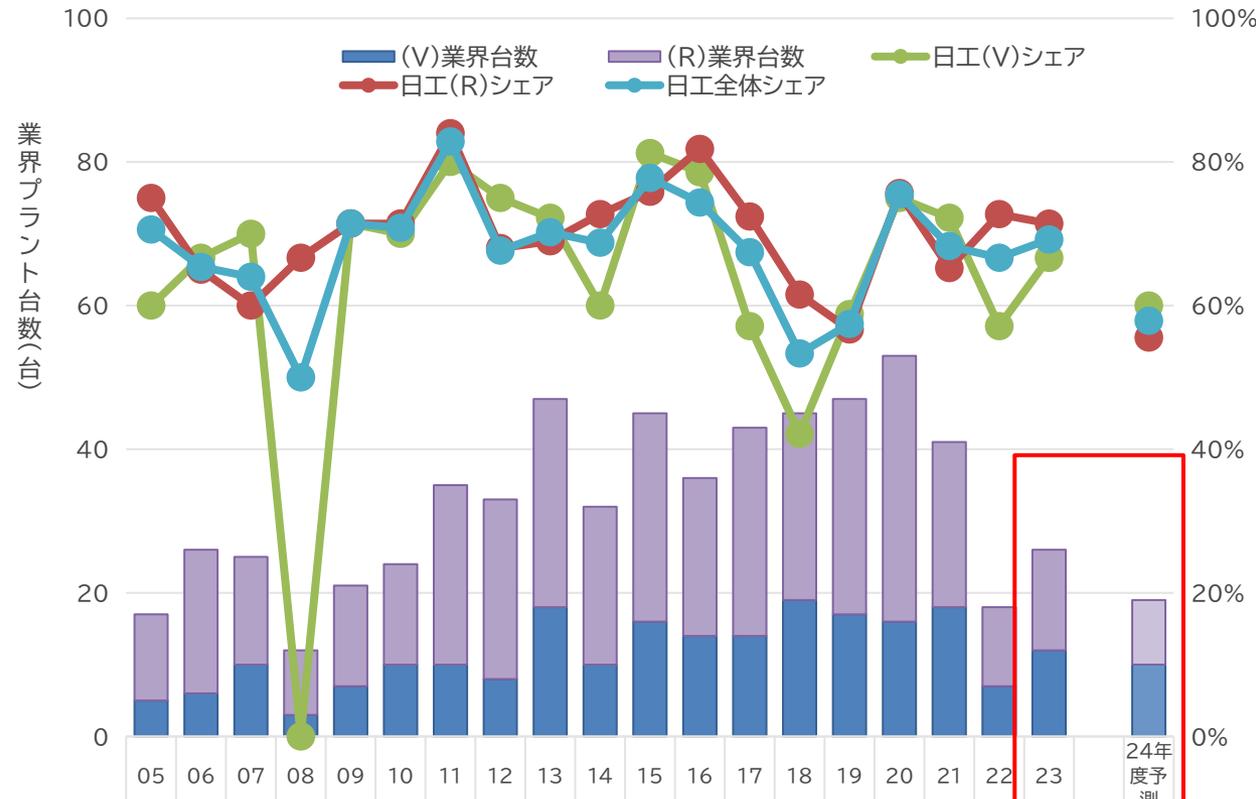


AP関連事業売上比率



- ▶ アスファルト合材の価格アップを進めており、業界全体としてゆるやかに業績改善すると予測
- ▶ 老朽化した設備更新の潜在需要はあり、業界全体の業績改善とともに設備投資意欲が回復すると予測
- ▶ 脱炭素関連製品の引合いは増加しており、継続的な伸長に期待

AP需要と日工のシェア



| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (R)業界台数 | 12 | 20 | 15 | 9 | 14 | 14 | 25 | 25 | 29 | 22 | 29 | 22 | 29 | 26 | 30 | 37 | 23 | 11 | 14 | 9 |
| (V)業界台数 | 5 | 6 | 10 | 3 | 7 | 10 | 10 | 8 | 18 | 10 | 16 | 14 | 14 | 19 | 17 | 16 | 18 | 7 | 12 | 10 |
| 日工(V)シェア | 60% | 67% | 70% | 0% | 71% | 70% | 80% | 75% | 72% | 60% | 81% | 79% | 57% | 42% | 59% | 75% | 72% | 57% | 67% | 60% |
| 日工(R)シェア | 75% | 65% | 60% | 67% | 71% | 71% | 84% | 68% | 69% | 73% | 76% | 82% | 72% | 62% | 57% | 76% | 65% | 73% | 71% | 56% |
| 日工全体シェア | 71% | 65% | 64% | 50% | 71% | 71% | 83% | 68% | 70% | 69% | 78% | 74% | 67% | 53% | 57% | 75% | 68% | 67% | 69% | 58% |

AP事業新製品実績

(単位:台)

| | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23年度 |
|-----------------|----|----|----|----|----|------|
| 新型AP台数 (VP・MBD) | 3 | 5 | 2 | 3 | 2 | 5 |
| 破碎プラント台数 | 0 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 |
| 脱炭素関連製品台数 | 3 | 2 | 2 | 9 | 19 | 55 |

★脱炭素関連製品 (フォームド装置、バイオマスバーナ等)

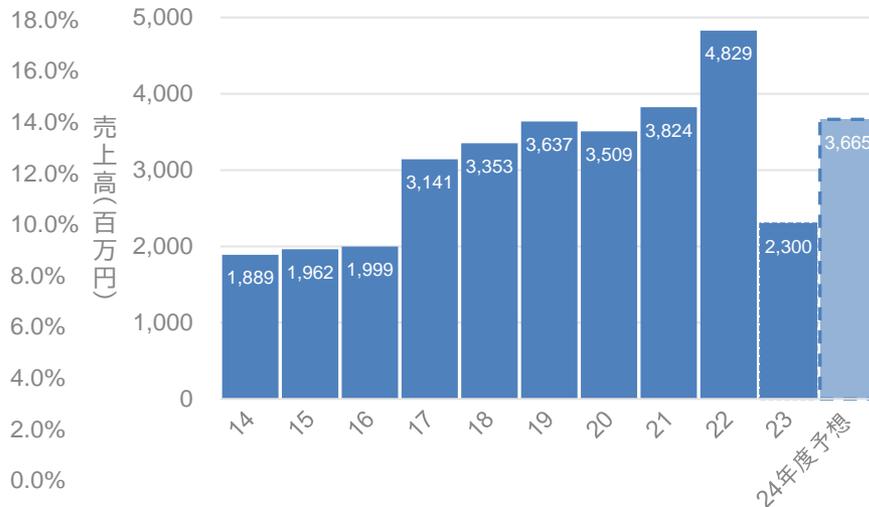
V: 新材(virgin)
R: リサイクル材(recycled)
資料出所:日工にて作成

- ▶ 標準化されたアスファルトプラント、VPシリーズ(大型機種VP-IV・標準機種VP-Ⅲ)の拡販により利益改善を目指す
- ▶ CO2排出量 2030年50%→2050年0%を目指し、脱炭素関連製品の強化を行う

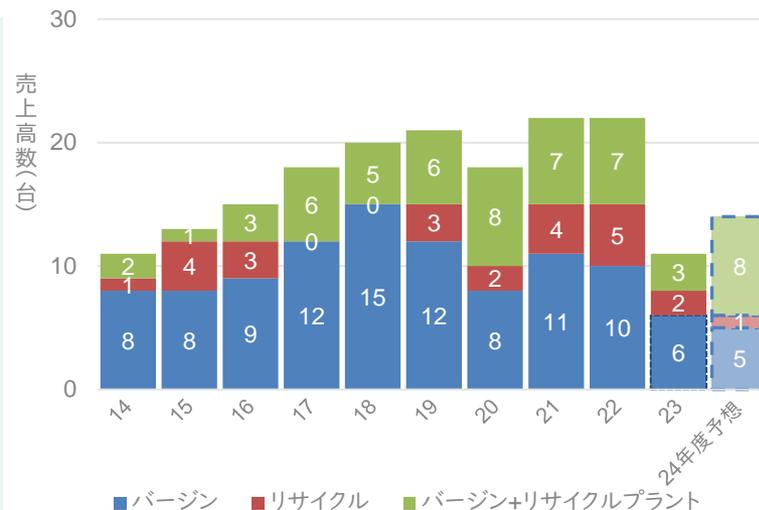
日工の海外売上高・海外売上比率



日工上海 売上高 推移



日工上海 AP売上台数 推移



【中国(日工上海)】

中国経済は巨大で複雑であるため判断は難しいが、建設関連については不動産業界、地方政府の財政状況に大きく影響を受けていると思われ、今期も他社メーカーとの厳しい競争となっている。コストダウンを図りながら、新型機種種の拡販を通じて、一定量の売上を確保する。

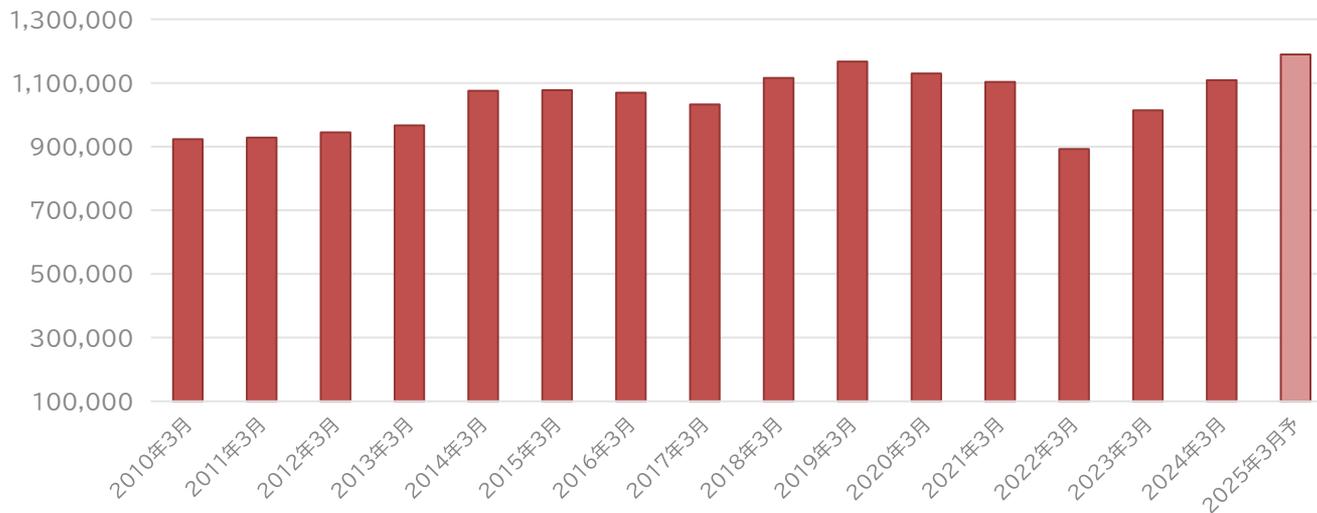
【タイ】

既存道路のメンテナンス工事及び既存道路、空港等の拡幅工事に予算が集中する見込み。タイ道路局(DOH)よりリサイクル合材のプラント仕様が発表され主要合材工場はリサイクル合材の先駆者になるべく引き合いが増加。合材ボリュームは東北部と東部が多く、来期以降も東北部の需要は続くと予想。

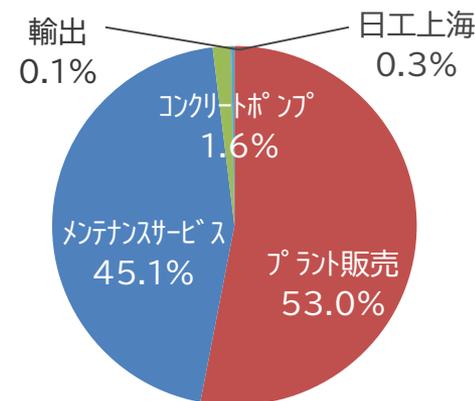
【台湾・輸出】

台湾では、部品・部分入替商談が継続する見込み、MS体制強化を図る

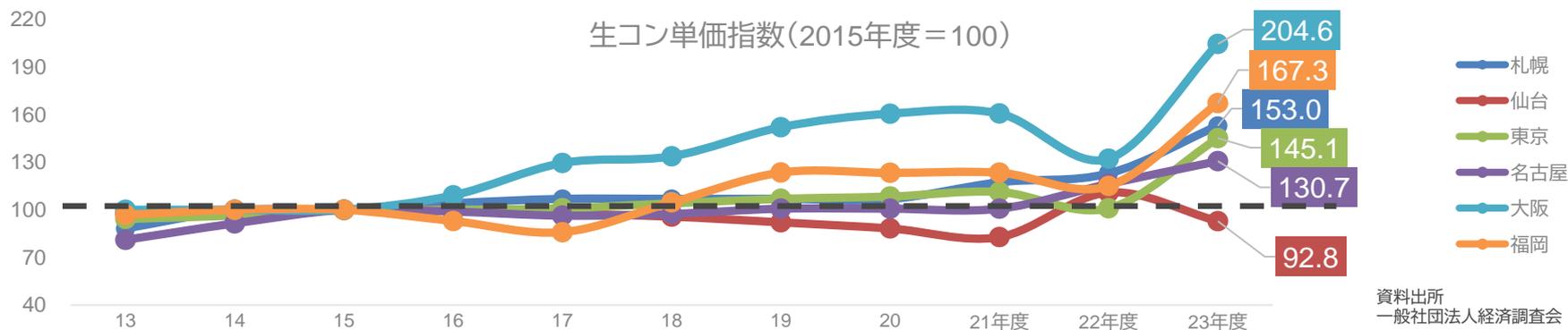
上場セメント会社(2社計)売上推移



BP事業売上比率



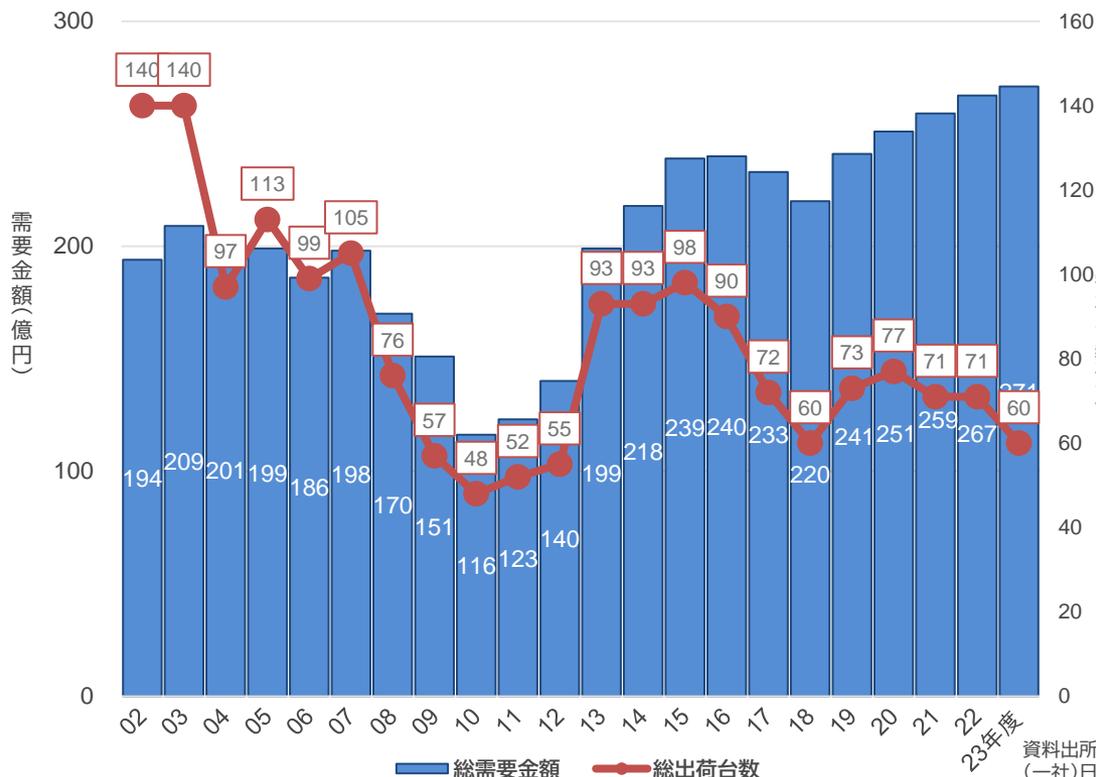
生コン単価指数(2015年度=100)



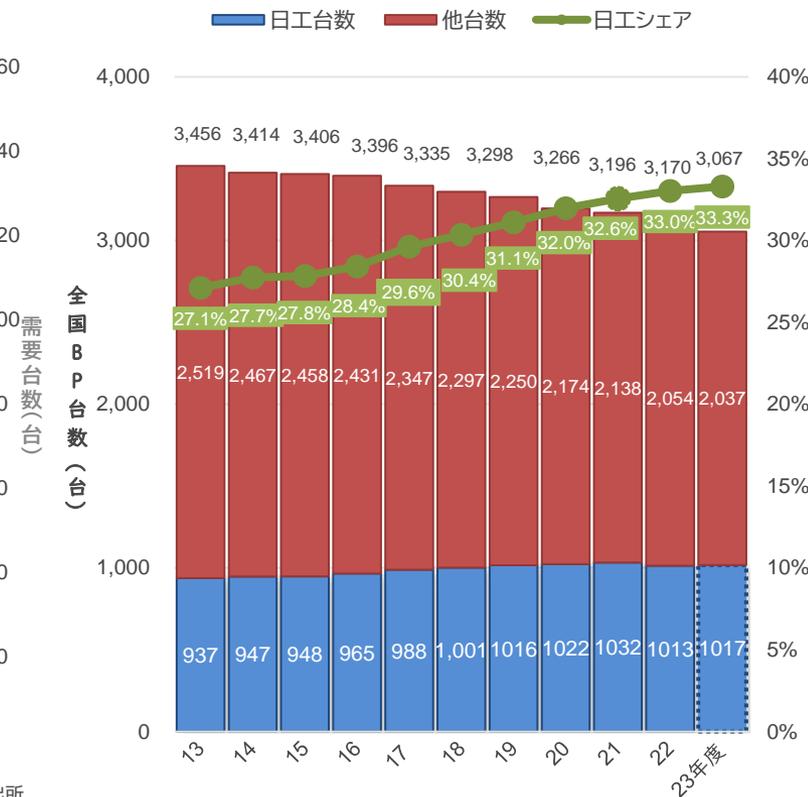
資料出所
一般社団法人経済調査会

▶ 2023年度の全国生コンクリート出荷量(全生連調べ)は7,018万m³で、前年を下回った。民需、官公需ともに低迷しており需要回復には至らない。このような状況下で生コン業界は、出荷量の減少により生コン工場が減少傾向だが、電力・原材料・輸送コストなどのコストアップ分を適正に価格転嫁し市場に反映された事により生コン市況は安定している

BP総需要(金額・台数)



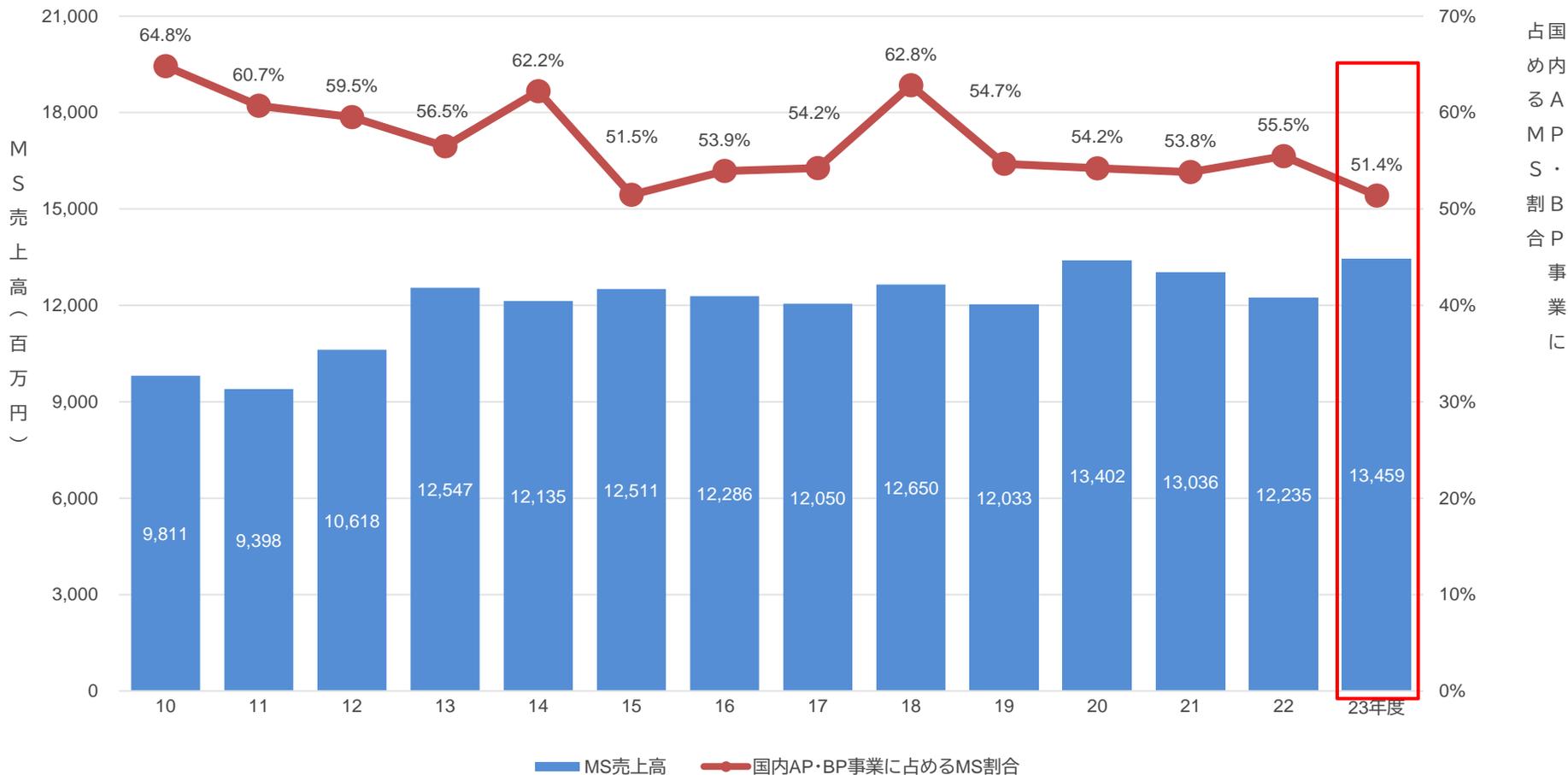
BP静態シェア推移



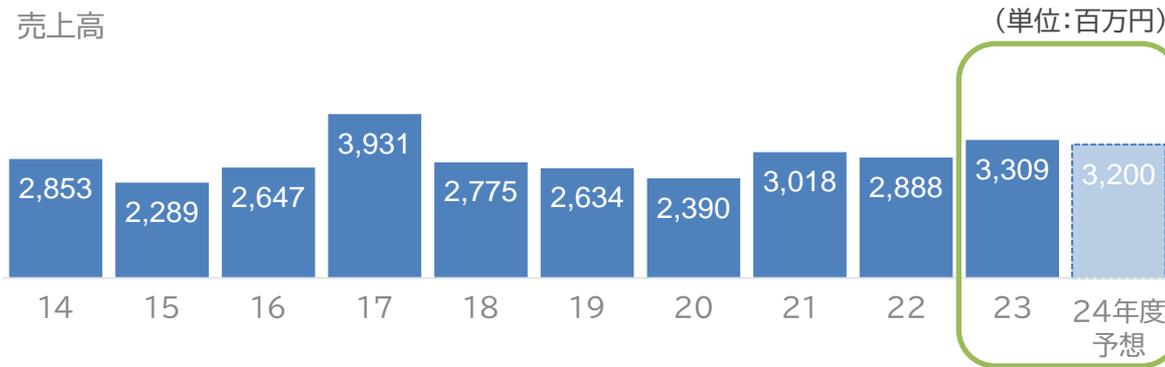
資料出所
 (一社)日本建設機械工業会BP部会
 (需要金額はメンテナンス・サービス含む)

- ▶ コンクリートプラント関連の総需要は5年連続で増加し2023年度は271億円、納入台数は60台。今年度も昨年度同様の需要が見込まれると予想
- ▶ 継続し需要が伸びているプレキャスト業界への拡販、生コン業界の集約化に伴う新たな需要に対して新製品の投入による差別化を武器に市場占有率をのぼす

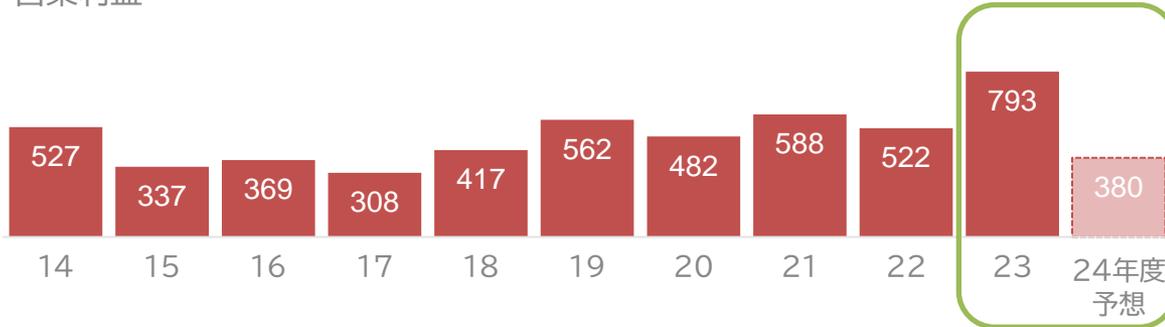
AP・BPメンテナンスサービスの売上・構成比推移



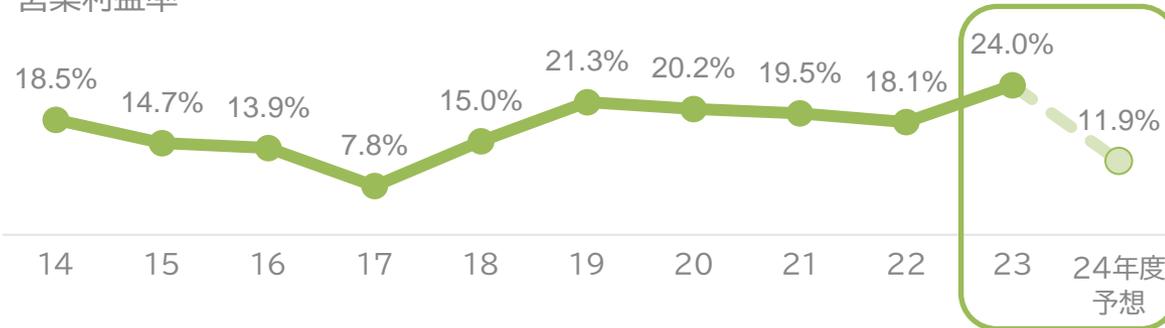
売上高



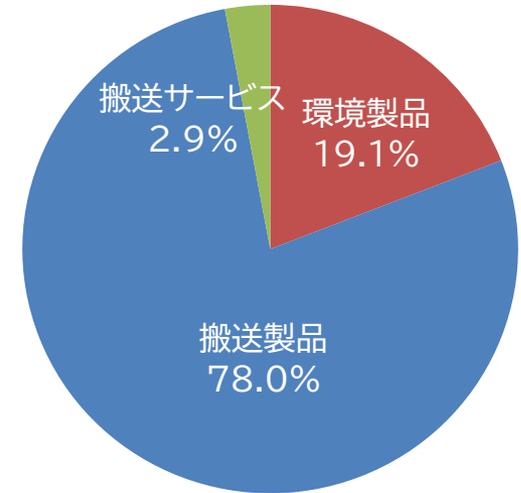
営業利益



営業利益率



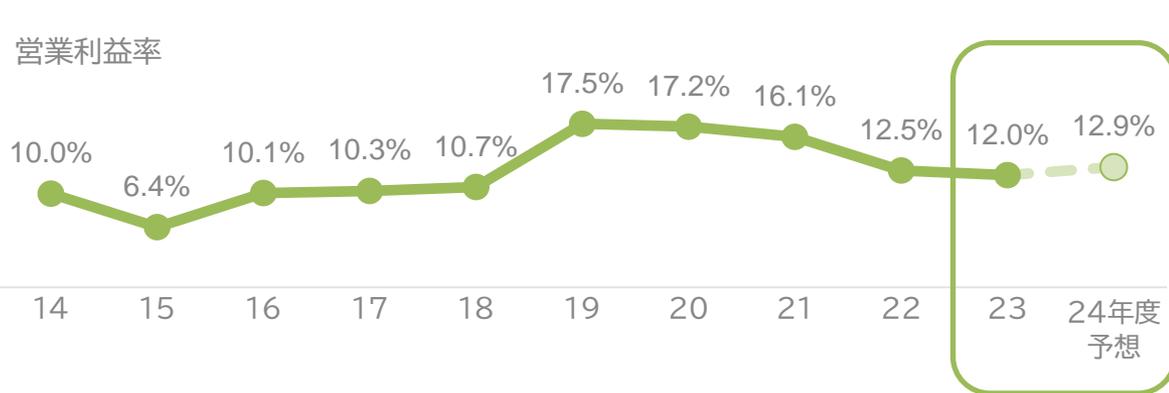
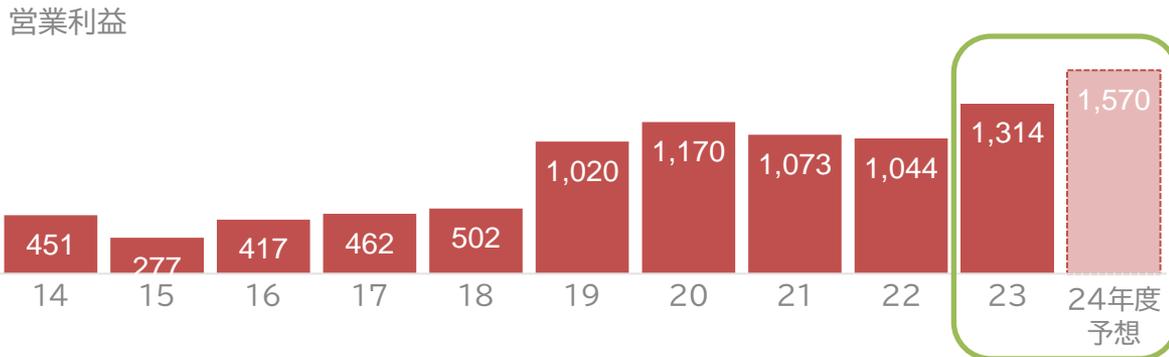
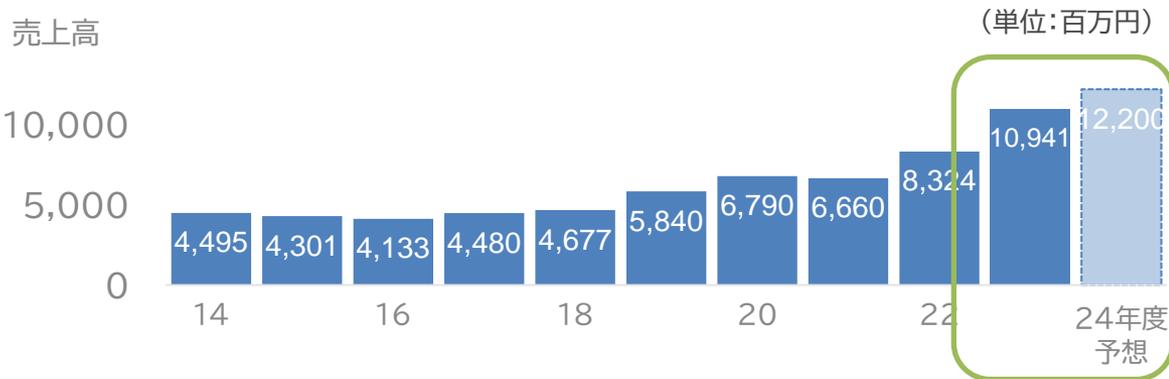
環境・搬送関連事業 売上比率



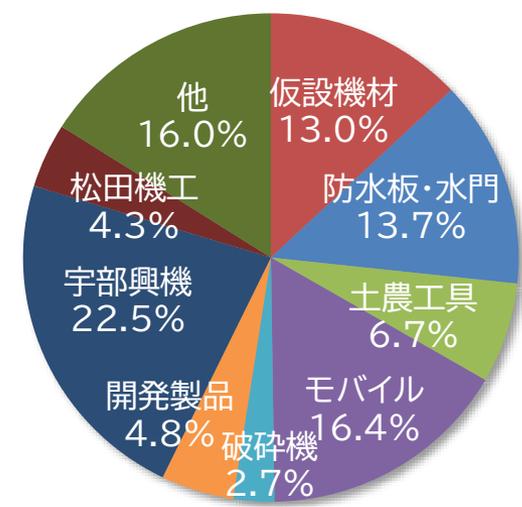
対前年度売上高 伸長率

2022→2023年度実績

| | |
|--------|--------|
| 環境製品 | △0.7% |
| 搬送製品 | +19.8% |
| 搬送サービス | △0.9% |



その他事業 売上



対前年度売上高 伸長率

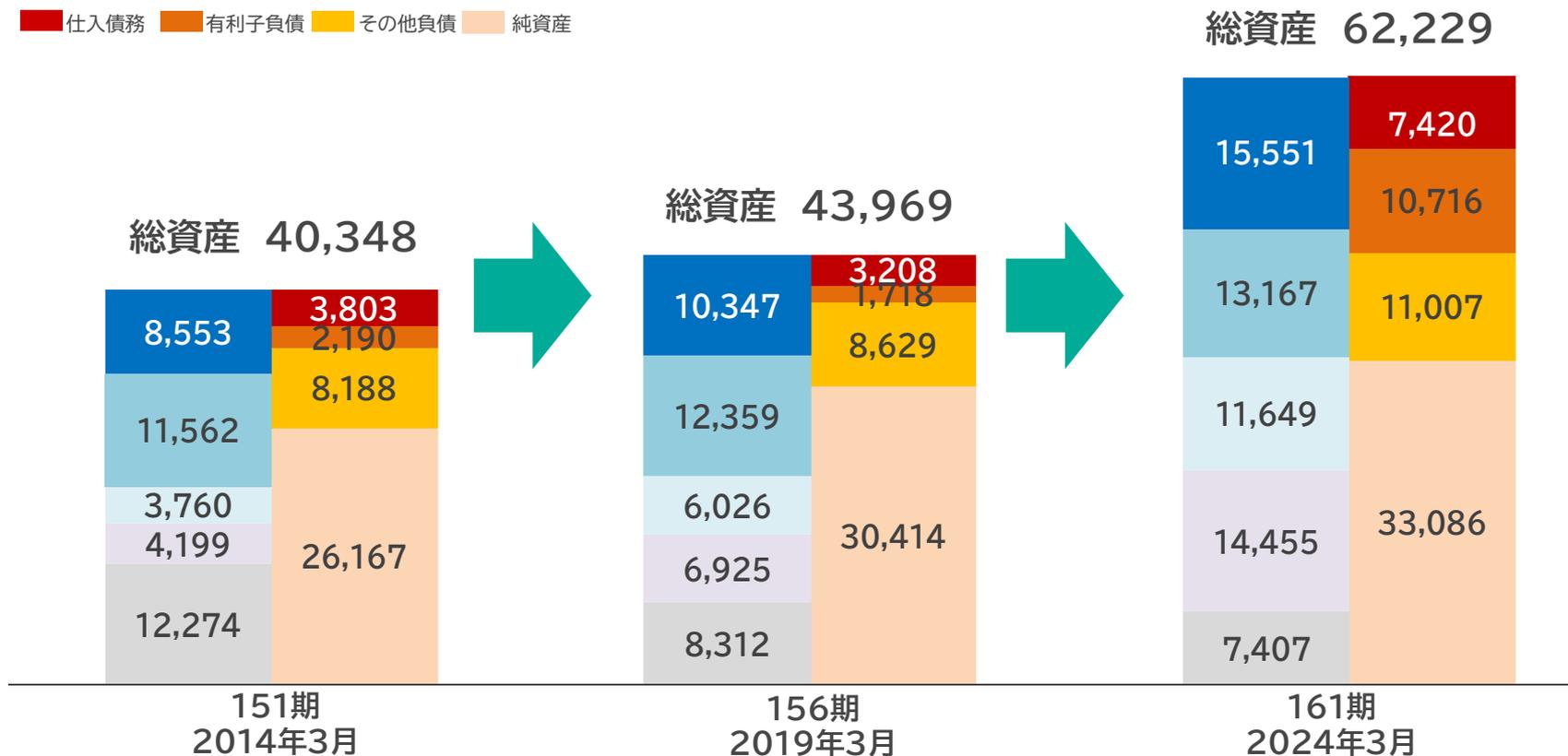
2022→2023年度実績

| | |
|-----------------|--------|
| 仮設機材 | +3.4% |
| 防水板・水門 | +29.4% |
| 土農工具 | ▲2.1% |
| モバイル | +61.9% |
| 破碎機 | ▲30.9% |
| 開発製品 | ▲5.9% |
| 宇部興機 | +14.1% |
| +23年度より松田機工取り込み | |

バランスシート推移

(単位:百万円)

■ 現預金 ■ 受取債権 ■ 棚卸資産 ■ 固定資産 ■ その他資産
■ 仕入債務 ■ 有利子負債 ■ その他負債 ■ 純資産



- ▶ 政策投資株の売却は、継続的に取り組む
- ▶ 株主還元強化の方針(配当性向60%以上を今中計期間継続)

参考資料



AP 関連事業

主要製品

- アスファルトプラント
- リサイクルプラント
- 破碎プラント
- 合材サイロ
- 電子制御機器、工場管理システム



ABD
多様なニーズに対応可能な
オーダーメイドモデルAP



VP IV
リサイクルをメインとした
最新ハイエンドモデルAP



CBD
タイ、東南アジア市場へ
グローバルモデルAP



BP 関連事業

主要製品

- コンクリートプラント
- モバイルコンクリートプラント
- コンクリートポンプ
- 電子制御機器、工場管理システム
- コンクリート製品生産用工場設備等



ONZEMIX-T50
Mobile BP



DASH-H275EvoV
220R-ADV
超高強度コンクリート
プラント



DASH-225Pro
065ITBF
大型プレキャストコン
クリートプラント



環境及び搬送関連事業

主要製品

- ベルトコンベヤ、設備用コンベヤ、缶・ビン選別機
- 油汚染土壌浄化プラント、プラスチックリサイクルプラント



ポータブルコンベヤ
10cm刻みで長さ調整ができる
パイプフレーム構造のコンベヤ



石膏系固材製造設備
石膏粉を乾燥し半水石膏を製造。
セメントや石灰とブレンドし固
化材を製造する設備です。



ストリンガークンベヤ
本体、オプションのモジュール化
により高品質でコストパフォーマンスに優れたコンベヤ



その他事業

主要製品

- パイプ枠組足場、鋼製道板
- アルミ製仮設昇階段
- ショベル、スコップ
- 小型コンクリートミキサ、モルタルミキサ
- 水門、防水板、破碎機
- 不動産賃貸、建設機械製品リース
- 住宅リフォームの販売等



ハンマークラッシャー
ロトルサイズにより
粒度調整ができ、1回
の破碎で希望粒度へ



モバイルプラント
自走式破碎機ランナー式(破碎機・
スクリーン・ベルトコンベヤ等)



防水板
地球温暖化による水害(内水
氾濫)に威力を発揮する防水板

取組内容

2023年度事業内容

事業別売上高と営業利益(千)

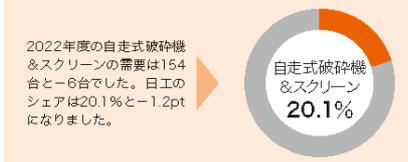
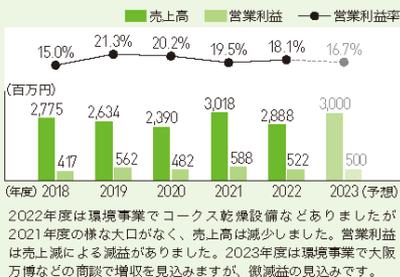
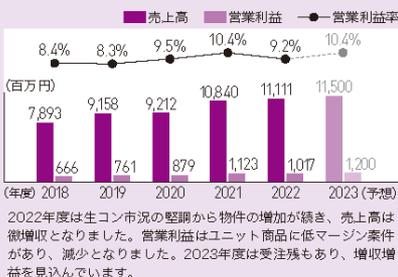
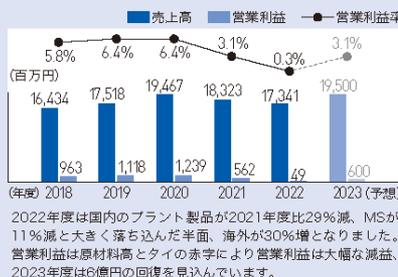
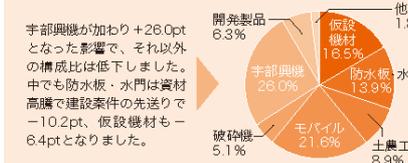
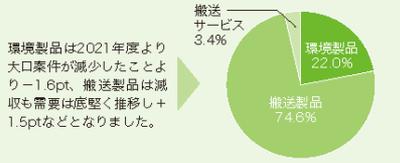
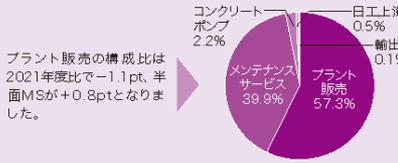
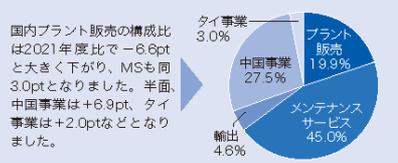
市場シェア(日工調べ)

事業内容

2023年度事業内容

事業別売上高と営業利益(千)

市場シェア(日工調べ)



B/Sに眠っている資産、約50億円(2018年度末を基準として)をキャッシュ化へ

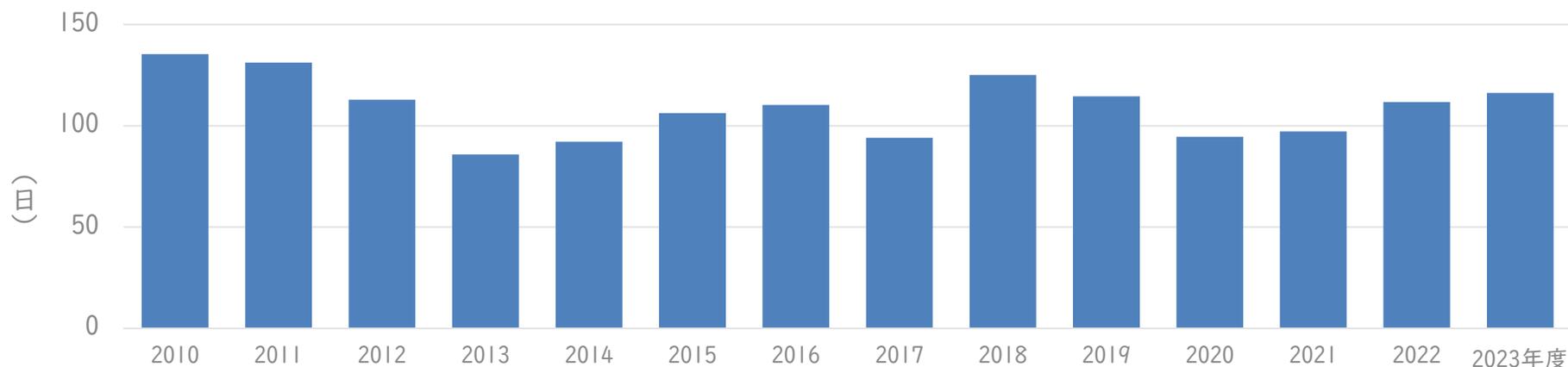
①政策投資株の売却 約20億円 ⇨ 2019年度～23年度売却額実績 23億円

政策保有株縮減状況(金額:百万円)

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 売切銘柄数 | 5 | 7 | 6 | 6 | 6 | 4 | 0 | 2 |
| 期内売却額 | 193 | 405 | 194 | 720 | 506 | 691 | 371 | 13 |
| 簿価 | 132 | 221 | 106 | 272 | 468 | 376 | 192 | 10 |
| 売却益 | 61 | 184 | 88 | 448 | 37 | 314 | 178 | 3 |

②CCC改善取り組み

⇨ 23年度 5億円のマイナス影響



売上高・利益・キャッシュフロー等の推移

(単位:百万円)

| | 21年度 | | | | 22年度 | | | | 23年度 | | | |
|-----------------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| 売上高 | 8,817 | 10,191 | 8,157 | 11,681 | 9,504 | 9,256 | 8,369 | 12,536 | 8,446 | 8,536 | 10,637 | 16,478 |
| AP関連事業 | 5,058 | 4,131 | 4,176 | 4,963 | 4,982 | 3,670 | 4,433 | 4,256 | 3,795 | 3,319 | 2,965 | 7,859 |
| BP関連事業 | 1,972 | 3,617 | 1,690 | 3,561 | 2,381 | 2,933 | 1,330 | 4,467 | 2,313 | 2,736 | 2,837 | 4,021 |
| 環境及び搬送関連事業 | 424 | 1,157 | 614 | 823 | 640 | 582 | 916 | 750 | 643 | 807 | 836 | 1,023 |
| その他事業 | 1,361 | 1,286 | 1,678 | 2,335 | 1,501 | 2,070 | 1,688 | 3,065 | 1,693 | 1,674 | 3,999 | 3,575 |
| 営業利益 | 375 | 593 | 59 | 1,026 | 183 | 216 | △32 | 661 | △99 | 368 | 449 | 1,250 |
| AP関連事業 | 199 | 189 | △61 | 235 | 139 | △7 | 107 | △190 | △92 | 121 | △366 | 668 |
| BP関連事業 | 196 | 413 | 58 | 456 | 211 | 294 | 2 | 510 | 169 | 335 | 401 | 436 |
| 環境及び搬送関連事業 | 66 | 177 | 136 | 209 | 147 | 89 | 82 | 204 | 126 | 206 | 208 | 253 |
| その他事業 | 157 | 160 | 306 | 450 | 31 | 222 | 163 | 628 | 104 | 111 | 622 | 477 |
| 全社費用 | △244 | △345 | △382 | △322 | △345 | △382 | △388 | △490 | △407 | △405 | △415 | △584 |
| 経常利益 | 519 | 586 | 89 | 1,079 | 326 | 222 | △19 | 726 | 67 | 388 | 520 | 1,169 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 378 | 489 | 16 | 766 | 140 | 119 | △35 | 796 | 27 | 321 | 246 | 718 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|---|-----|---|--------|---|-----|---|--------|---|-----|---|
| 営業CF | 2,224 | | | | △1,644 | | | | 4,332 | | | |
| 投資CF | △2,165 | | | | △1,226 | | | | △2,333 | | | |
| 配当金総額 | 687 | — | 573 | — | 573 | — | 574 | — | 574 | — | 574 | — |
| 自社株取得額 | 0 | | | | 0 | | | | — | | | |

(単位:百万円)

| | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 設備投資 | 844 | 815 | 877 | 1,261 | 550 | 1,889 | 1,483 | 2,748 | 1,907 | 2,214 | 2,308 |
| 減価償却費 | 395 | 422 | 487 | 482 | 472 | 508 | 611 | 677 | 759 | 990 | 1,023 |
| 研究開発費 | 295 | 276 | 227 | 271 | 291 | 211 | 379 | 392 | 449 | 576 | 603 |

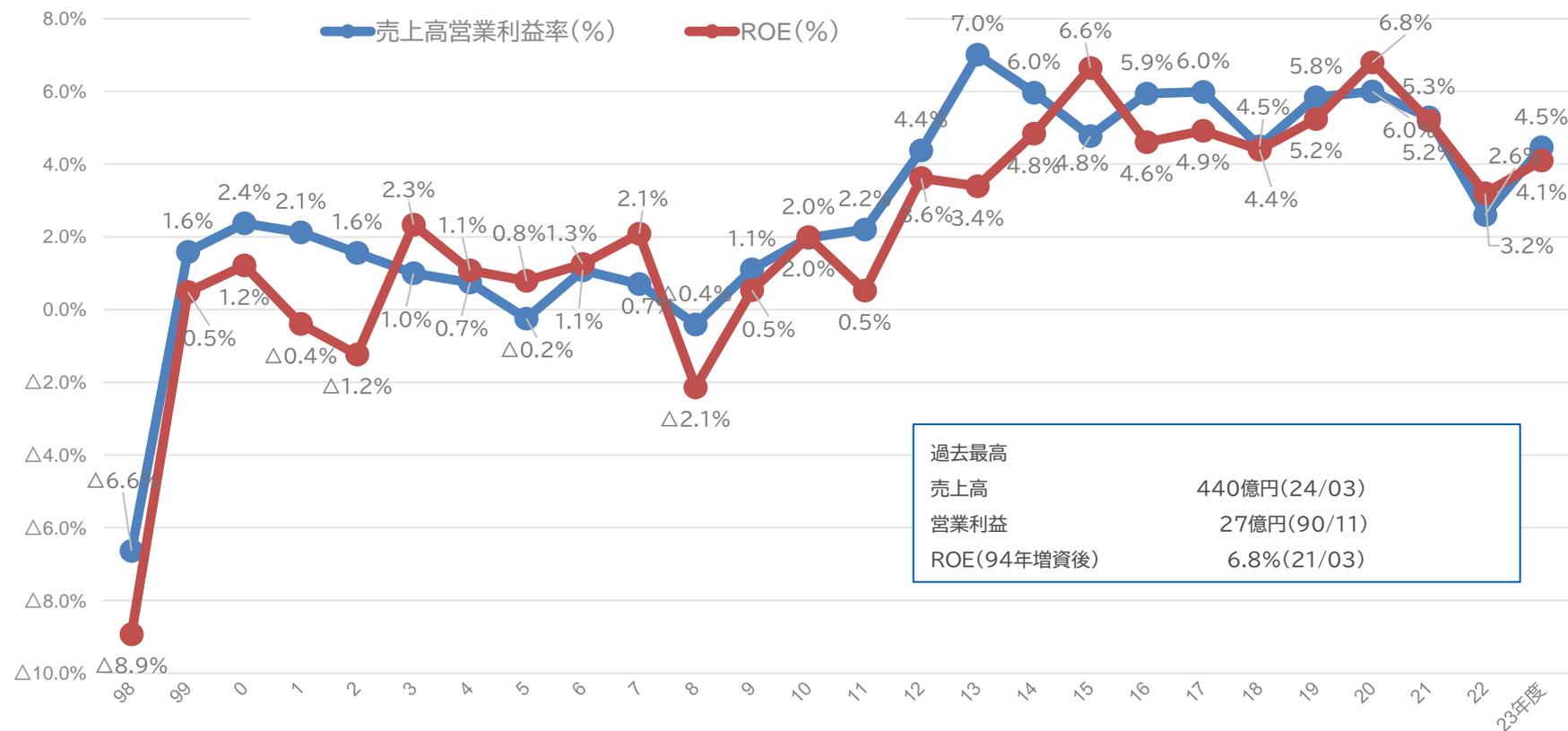
(単位:人、歳、年)

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|------|-------|------|-------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 連結従業員数 | 767 | 796 | 803 | 797 | 807 | 799 | 838 | 861 | 1,038 | 1,064 | 1,117 |
| 従業員平均年齢(単体) | 43.3 | 43.1 | 42.2 | 42.3 | 42.2 | 40.9 | 41.1 | 41.1 | 40.8 | 40.3 | 39.7 |
| 平均勤続年数(単体) | 20 | 19.3 | 18.2 | 18.5 | 18.3 | 16.0 | 15.8 | 15.4 | 15.3 | 14.7 | 14.0 |
| 女性社員数(単体) | 31 | 33 | 39 | 42 | 42 | 45 | 51 | 55 | 59 | 69 | 79 |
| 新卒採用者数(単体) | 21 | 21 | 30 | 17 | 19 | 15 | 14 | 13 | 29 | 32 | 32 |
| 新卒女性社員採用数(単体) | 1 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 6 | 6 |
| 女性社員採用割合(単体) | 4.7% | 14.2% | 3.3% | 11.7% | 0% | 0% | 0% | 0% | 10.3% | 18.8% | 18.8% |
| 外国人採用数(単体) | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 8 | 9 |
| 外国人従業員数(単体) | 8 | 6 | 6 | 6 | 7 | 8 | 5 | 5 | 6 | 13 | 21 |
| 外国人従業員(連結) | 91 | 95 | 94 | 93 | 101 | 98 | 116 | 116 | 194 | 205 | 225 |
| 海外従業員数(連結) | 91 | 95 | 92 | 91 | 101 | 98 | 123 | 121 | 197 | 214 | 212 |

環境負荷軽減新製品

| | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2022年度 |
|----------|------------------------|--------------------------|--------------------------------------|---------------|--------|---------------|--|
| 新製品名 | 【砂専用乾燥装置】 【高温予熱バーナ】 | 【NTB-Ⅱバーナ】 | 【新型バグフィルタ】 | 【VPシリーズAP】 | — | 【フォームドAS製造装置】 | 【粉体燃焼バーナ】 【水素バーナ】 |
| 環境負荷軽減項目 | ・プラント生産効率UP ・省エネルギー | ・省エネルギー ・燃焼領域での燃焼効率UP | ・省スペース ・省エネルギー ・排ガス量低減 ・低騒音 | ・再生材の臭気ガス拡散防止 | — | ・中温化合材の製造対応 | ・粉体バイオマス燃料の燃焼を目的 ・バーナ燃焼時の低炭素化 ・水素100%専焼、都市ガスとの混焼可能 |

営業利益率・ROE



過去最高
 売上高 440億円(24/03)
 営業利益 27億円(90/11)
 ROE(94年増資後) 6.8%(21/03)

(単位:百万円)

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 22,595 | 23,170 | 24,307 | 24,812 | 24,864 | 22,175 | 25,035 | 26,942 | 23,856 | 23,971 | 23,803 | 24,553 | 27,087 | 32,073 | 30,707 | 34,110 | 32,717 | 35,114 | 31,780 | 35,151 | 37,866 | 38,846 | 39,665 | 44,097 |
| 営業利益(損失) | 536 | 492 | 379 | 248 | 185 | △55 | 271 | 189 | △98 | 265 | 470 | 541 | 1,186 | 2,249 | 1,832 | 1,629 | 1,944 | 2,103 | 1,427 | 2,053 | 2,302 | 2,053 | 1,028 | 1,968 |
| 経常利益 | 846 | 664 | 688 | 492 | 537 | 350 | 699 | 545 | 482 | 899 | 812 | 621 | 1,108 | 1,982 | 1,582 | 1,648 | 1,993 | 2,239 | 1,576 | 2,142 | 2,973 | 2,274 | 1,255 | 2,144 |
| 当期純利益(損失) | 298 | △93 | △284 | 567 | 265 | 203 | 315 | 513 | △499 | 124 | 461 | 122 | 881 | 888 | 1,348 | 1,896 | 1,340 | 1,490 | 1,345 | 1,588 | 2,082 | 1,649 | 1,020 | 1,312 |



ミーティングのご希望などございましたら、お気軽に以下宛ご連絡ください

TEL 078-947-3141 IR-nikko@nikko-net.co.jp

日工株式会社 財務部IR課 八軒(はちけん)宛

-
- 当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。
 - 当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。
 - また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。